

令和元年度

築上町日中友好相互交流事業 報告書



築上町日中友好相互交流事業
実行委員会

令和元年度日中友好相互交流事業

団長 築上町長 新川 久三

令和元年の日中友好相互交流事業は十一月二十日から二十三日までの期間で児童二十二名と引率十名で常州市金壇区及び南京市六合区の姉妹校を訪問しました。

私は、東京に全国基地協議会の役員会があり、二十日の羽田発十時の福岡行きに乗り十二時に福岡空港国際線に到着したら、児童の皆さんは既に到着していました。

出国手続きを済ませ十四時に上海浦東空港を目指して離陸をし、到着は中国時間で十五時半（日本との時差一時間）でした。

中国への入国手続き終えて、出迎えは江蘇省人民代表大会常務委員会外事委員会弁公室副主任の張宏（女性）さんがロビーで待っていました。

貸切バスで常州市金壇区のホテルに着いたのが午後十時で渋滞して予定よりはずいぶん遅れてしまいました。夕食が三時間延びて大変お腹が空いたので児童の皆さんには気の毒に思いました。

翌日、金壇区の都市企画展示館を見学し、素晴らしい近代的な技術を駆使して、あたかも乗り物に乗り市内観光をしている様な4D画像には驚きました。次に河頭小学校（現校長が前薛埠中心小学校長であったため訪問の要請を受け、中国側の日程に組まれていたため）を訪問し、バスケットボールの演技で歓迎をしていただきました。

昼食は金壇区の招待により金壇区人代常務委員会王新輝副主任と一緒に

とり、記念品の交換をいたしました。

午後には築城小学校と姉妹校の薛埠中心小学を訪問し、はじめに日中共同で風作りをして完成品を運動場で高く上げました。その後、交流会場で歓迎式典とお互い出し物で交流を深めました。午後三時には、南京市にバスで向かいました。

二十二日は午前中、新しく出来たばかりの科學博物館を訪れ中国の歴史を勉強しました。昼食後、椎田小学校と姉妹校の竹鎮中日友好希望小学校を訪れ、正門を入ると一本足の龍踊での出迎えがあり、通路には過去の交流の写真等の掲示で素晴らしい歓迎でした。全校児童二百六十名で校舎横のイベント広場で歌や踊りで双方の交流を深めました。

このあと南京市に戻り、午後六時頃に議事園ホテルに到着し、江蘇省人民大会主催の歓迎宴会で全員御馳走になりました。

今回の訪問は、二十二名の児童の旅行中の態度が非常に良かったこと、そして行く先々でメモを取り、初めての中国を興味深く観察していたのが伺え、帰国後の各自の感想文が楽しみです。児童の皆さんは自校の皆さんに中国で見たこと、感じたことを報告してください。

何よりも三泊四日事故なく友好交流の目的が果たせ、また中国江蘇省人代常務委員会、常州市金壇区人代常務委員会、薛埠鎮人代常務委員会、河頭小学校、薛埠中心小学、竹鎮人代常務委員会、並びに竹鎮中日友好希望小学校の皆様のおかげで子供と子供の日中友好の懸け橋となったことと思っています。

結びに三十一名の友好交流団の皆様、お疲れさまでした。謝謝

日中友好相互交流事業を実施して

副団長 教育長 久保 ひろみ

令和元年十一月二十日から二十三日にかけて、五校の児童二十二名、随行員十名の総勢三十二名で、江蘇省常州市と南京市の姉妹校二校と金壇区河頭中心小学を友好訪問いたしました。

小学校第六学年（十二歳）という感性豊かな時期に、「中国」という外国を自分の目で見て、肌で感じ取る体験は他に替え難い貴重なものであると考えています。短い期間ではありましたが、子どもたちは言葉の壁を越えた交流ができ、国際理解の小さな芽が芽生えたのではないかと思います。訪問に先立って、休日に事前研修会を行いました。参加児童は全員意識が高く、挨拶や説明の仕方、中国語でのあいさつ、出し物等を熱心に練習していました。姉妹校の友達に喜んでもらえるようにと、出し物の踊り（ソーラン節、エイサー）と歌の練習に真剣に取り組みました。そのかいもあり、訪問時には、どの学校でも先生や子どもから大きな拍手をいただきました。

さて、今回も、江蘇省人民代表大会常務委員会の副主任張宏さんが友好相互交流訪問のお世話をしてくださいました。

「有朋自遠方来、負亦樂乎 ―ともありえんぼうよりきたる

またたのしからずや―」同じ志を持つ友達が遠くから来てくれ、一緒に学ぶことができ、なんと楽しいことだろうと大歓迎してくださいました。

現地二日目にまず、常州市金壇都市企画展示館を見学し、一校目の河頭

中心小学校を訪問しました。ここでは、バスケットボールを使った体操を全校児童で披露してくれました。特に高学年の児童の技術は素晴らしかったです。午後には、築城小学校の姉妹校、薛埠中心小学を訪問しました。ここでは図工の授業に参加し、中国の子供たちと協力して凧作りをし、運動場で凧揚げをしました。言葉を越えた交流ができている姿を見て、大変感動いたしました。

三日目は、科挙博物館を見学しました。子どもには難しい内容だったかもしれませんが、中国の官僚試験の様子など興味深く見学していました。その後、椎田小学校の姉妹校、竹鎮中日友好希望小学校を訪問しました。ここでも、前日同様温かな歓迎を受け、体育や図工の授業に参加し、独楽を回したり、切り絵を楽しんだりして交流を深めました。どの学校においても、歓迎交流会が開かれ、次々と繰り出される歌や踊りは目を見張るものばかりで感心しました。夜は江蘇省人民代表大会主催の歓迎の宴が催され、和やかに交流を深めました。

私は今回初めて当事業に随行しましたが、参加児童全員が築上町の代表であるという意識を持ち、所期の目的を果たすことができたことを大変うれしく思っています。

結びに、日中友好相互交流事業にご理解・ご協力をいただいた学校、児童保護者並びに関係各位に厚くお礼を申し上げます。

令和元年度日中友好相互交流事業を終えて

実行委員長 椎田小学校 校長 宮内 智久

交流事業に参加したのは、今回で四年目になります。

平成二十八年に途中途絶えていたこの事業を再開した当時、まだまだ日中関係は今ほど良好ではなく、団員を募集してもなかなか集まらない状態でした。ようやく十七名の子どもたちが参加し、訪問団を結成することができました。

しかし、当初の心配とは裏腹に、実際に行ってみると盛大な歓迎を受け、辛亥革命後、孫文が執務したという貴重な文化遺産である迎賓館での晩餐会など大変なもてなしを受けました。子どもたちの交流会も、民俗芸能や社交ダンスなど圧倒されるものばかりでした。

その後、回を重ねる毎に、交流の中身が深まってきました。お互いの出し物を見せ合うだけだったものから、授業も一緒にしたらどうだろうということになり、図工や体育などを一緒にするようになりました。こうした交流活動を通して、子どもたちは、身振り手振りで何とかコミュニケーションをとり、お互いの意思を確認しながら協働で作品を仕上げていく姿は、本当にほほえましいものでした。

本年度は、町内八小学校のうち、五校から三十六名の申し込みがあり、二十二名（椎田小学校・築城小学校・葛城小学校・八津田小学校は応募者多数のため抽選を実施）が選ばれ交流事業に参加しました。児童も、築上町の代表、日本国の代表という自覚をもって参加してくれました。年々、その意識が高まってきていることを実感しています。

今回の訪問では、これまでの薛埠中心小学・竹鎮中日友好希望小学校の二校に、新たに河頭小学校が加わりました。それは、河頭小学校の校長先生が薛埠中心小学の前校長で、子ども同士の交流の重要性をご理解し

ていただいております。「新しい赴任校でも、日本との交流を行いたい。」という熱い思いから実現したものです。このように、交流を通して、確実に日中友好の輪を広げていっているということを確信しました。

訪問先では、最初児童訪問団員のみんなは、緊張した面持ちで交流をしていましたが、だんだんと慣れ笑顔が出てきました。感想文の中にもありますが、「噂や話だけで物事を判断してはいけません。実際に見て経験しなければ、本当のことはわからない。」ということを実感したのではないのでしょうか。このことは、日本に帰ってきてからの人間関係形成にも大きく役立つことと思います。

さて、私自身がこれまでの中国訪問を通して一番強く感じていることは、「（技術）開発の速さ」ということです。例えば、中国は土地は当然広いのですが、都市開発のスピードが信じられません。昨年訪問した時は、まだ土を掘っていた場所に、今年はまだ三十階建てのアパート数十棟もが建ち並んでいました。小学校においても、交流会場である講堂のステージ幕も、これまでは布に印刷されていたものが、今年は野球場のようにLEDビジョンになり、進行やおどりに合わせて画面が変わる演出効果のあるものとなりました。高速道路にも、たった一年で新しい巨大なサービスエリアができ、その中には4Dビジョンのコマーシャルが流れていました。今の世界の技術開発の早さを目の当たりにしたわけであり、これらに対応できる日本の子どもたちを早急に育てていかなければという思いに駆られました。子どもたちにとっても、築上町では経験できない貴重な機会だったと思います。ぜひ、この様子を友だちに伝えていって欲しいと思います。

最後に、このような機会を与えていただいた築上町の関係者の皆様、お子様を参加させていただいた保護者の皆様に感謝申し上げます。

築上町日中友好相互交流事業

築上町日中友好交流訪問団結団式及び事前研修

○結団式 10月6日(日) 9:00~9:30

・団長、実行委員長の話 ・団員紹介

○第1回事前研修会 10月 6日(日) 9:30~12:00

○第2回事前研修会 10月27日(日) 9:00~12:00

○第3回事前研修会 11月10日(日) 9:00~12:00

○第4回事前研修会 11月17日(日) 9:00~12:00

内容

- ・日中友好交流事業の目的
- ・役割分担・練習
- ・出し物練習
- ・中国語の練習 等

中 国 訪 問

11月20日(水)

10:30 築上町出発(バス)
13:55 福岡空港発 中国東方航空518便(機内食)
15:45 上海浦東空港着、入国審査
(これより現地時間 1h遅い)
16:30 常州市へ出発(バス)
22:00 ホテル着(宿泊:金壇区 維也納国際大酒店)

11月21日(木)

7:30 朝食
8:30 金壇都市企画展示館見学
9:30 河頭小学校訪問 交流会
12:00 昼食
13:30 薛埠中心小学訪問 交流会
15:00 南京市へ移動(バス)
18:00 ホテル着(宿泊:南京 江蘇議事園大酒店)

11月22日(金)

7:30 朝食
9:30 南京科学博物館見学・お土産
12:00 昼食
13:20 竹鎮中日友好希望小学校訪問 交流会
15:40 南京市へ移動(バス)
17:30 ホテル着(宿泊:南京 江蘇議事園大酒店)
江蘇省人代主催夕食会

11月23日(土)

7:00 朝食
9:00 上海へ移動(新幹線)
12:30 上海浦東空港にて搭乗手続き・出国審査、買い物
14:20 中国東方航空5087便(機内食)
17:15 福岡空港到着後、入国審査 出発 (日本時間)
19:30 築上町着、解団式

児童の感想文

中国交流事業に参加して

築城小学校 平池 杏衣

十一月二十日（水）に築城支所でたくさんの親の見送りを受けて出発し、福岡空港から中国上海空港に行きました。上海空港に着陸する前、窓から外を見ると、海上にはたくさんの風力発電の風車が並んで建っていました。この様にして電力を作っているんだなあと思いました。また、陸上では大きなビルが建ち並んでいて、大都会でした。空港の中もとても広くて、迷子にならないようにとても気をつけて行動しました。はぐれてしまうと大変なことになりそうでした。空港を出発してからはホテルまでずっとバスで移動しました。バスの中では高速道路を走っている車を見ていました。すると、日本製の車がたくさん走っていることに気づきました。「日産・ホンダ・スバル・三菱」など日本でよく聞く車です。その他「ベンツ・VW」などが走っていました。日本の車はそのままでなく、少し改良した感じがしました。また、高速道路の横に「酒店」という漢字をよく見ました。ガイドの方の説明ではこれは「ホテル」という意味と教えていただきました。ホテルまでバスで五時間近くかかりま

した。ホテルに着くまでにとっても疲れました。一日目のホテルはとても豪華で、広い部屋でした。一緒の部屋の人ともすぐに仲良くなり、シャワーを浴びてすぐに寝ました。

十一月二十一日は、河頭小学校と薛埠中心小学校を訪問します。小学校を訪問する前に、近くの展示館に行きました。ここは、未来の南京市の様子を模型や映像で展示していました。中でも自転車をこぐと、周りの景色がいろいろと変わっていく3D映像がとても楽しかったです。その後、午前中に河頭小学校を訪問しました。学校に着くと、みんなとてもかわいくて、親しみやすかったです。この河頭小学校は、今年初めて訪問する小学校だったけれど、みんな笑顔で接してくれたおかげで、緊張はあまりしませんでした。ここでは、全校児童でバスケットボール体操をしていました。ずっと続けて練習しているからとても上手にバスケットボールをあやつって体操をしていました。

午後は薛埠中心小学校に行きました。最初に中国の子ども達と一緒にたこ作りの授業に参加しました。作るとき、ペアの子どもが漢字を紙に書いて教えてくれようとしたけどよく分かりませんでした。しかし、ジェスチャーをお互いして、伝えたいことを一生けん

命あらわすと、思っていることが少しずつ伝わり、無事にたこをつくることができました。その後、グラウンドで中国の友達と一緒にたこあげをしました。中国の子ども達と友達にもなれました。その後の交流会では、私が児童代表のあいさつをしました。緊張したけど、今までで一番よいできだったと思いました。ソーラン節も元氣よく踊ることができてよかったです。

十一月二十二日は午前中に中国科学博物館に行き、午後からは竹鎮中日友好希望小学校に行きました。博物館の壁には、竹の形や本を開いたデザインのが敷き詰められていました。館内では役人になるために試験を受けている人達の様子について紹介されました。一度試験を受けると、一日中食事もとらずに続けるらしく、とっても厳しい試験だと説明がありました。その後、お店でおみやげを買いました。私はクッキー、キーホルダー、鏡などを買ひ、ほとんどお金がなくなりました。午後の竹鎮中日友好希望小学校では、はじめに中国ごまの体験授業を受けました。中国の友達の上手な教え方のおかげで、私も上手になれました。この中国ごまがとても欲しくなりました。交流会では、中国の友達がリコーダーで「さくら」と中国の歌を演奏してくれて、とても感動しました。プレゼント交

換で、私たちにも「石のオブジェ」をいただきました。

夕食は中国の方からの歓迎夕食会でした。豪華な食事がならび、とてもおいしかったです。この時にも中国の方から「においぶくろ」をいただきました。

十一月二十三日は最終日です。バスや新幹線に乗って中国上海空港に行きました。新幹線は日本の新幹線と似ていました。空港では少し時間があつたので買い物で耳が動くパンダを買うことができました。

福岡空港に着いて、バスで築上町に帰りました。築城支所でお世話になった人に解散式をして家に帰りました。

この中国訪問を通して、中国の食事や文化、中国の小学校のことなど、たくさんのことを学ぶことができました。参加してよかったと感じています。来年の小学生もこの体験を是非してみてほしいと思います。絶対に感動すると思います。

中国訪問をして

築城小学校 秋元 心優

私は十一月二十日から二十三日までの三泊四日で中国に行き、

色々なことを体験し、学ぶことができました。まず中国に着いて初めに驚いたことは、中国の街は夜でも明るく、高層マンションなどの高い建物が多かったことです。日本の東京をもっと大きくした感じでした。食事ものいつもごうかな料理が出てきて、食べきれませんでした。食事の最後には必ずスイカが出てきて、食事の最後を知らせるということも知りました。このスイカは一年中、中国のどこかの場所で作られているようです。また、道路のわきには、大きな木が植えられていました。この木によって、夏は日陰をつくり、暑さをやわらげるそうです。道路の信号機も日本のものとは大きく違っていました。日本のように赤青黄だけでなく、信号が変わるまであと何秒かを教えてくれていました。これがあれば、歩行者も運転手も安全に通れそうだと思います。私たちが泊まったホテルはとても豪華で、広い部屋でした。

二日目は朝食を食べて、近くの展示館に行きました。ここは金壇

区の未来についていろいろなものが展示されていました。大きなスクリーンに映された映像は迫力がありませんでした。

展示館を見学後、河頭小学校に行きました。ここではバスケットボールを使った体操を見せてもらいました。みんなとても上手に体操をしていました。その後、交流会をしました。私たちは交流会では、歌を歌ったりダンスを踊ったりしました。緊張したけどいっしょうけんめい踊りました。中国の子ども達もとても上手に歌っていました。

昼からは薛埠中心小学校に行きました。中国の子どもとペアになってたこ作りをしました。言葉はあまり通じなかったけれど、ジェスチャーで会話ができました。できあがったたこを運動場であげました。交流会では、「花は咲く」「ソーラン節」をいっしょうけんめい歌ったり踊ったりしました。練習のときよりよくできたと思います。その後プレゼント交換をしてお別れしました。

学校からホテルに帰る途中、バスから外を見ると、バイクや自転車がたくさん走っているのが見えました。

三日目は、科挙博物館見学と竹鎮中日友好希望小学校との交流です。

科挙博物館では、昔の人の勉強の様子を見ました。昔は竹に字を書いていたということを初めて知りました。この博物館の壁はその竹をイメージして作っていると、ガイドさんから教えてもらいました。また、昔の試験の様子も人形で表していて、とてもよくわかりました。科挙の試験はとても大変で何日もかけて試験が行われるそうです。ごはんも持ち込んでいるそうです。日本と違う中国の様子がよく分かりました。

昼からは竹鎮中日友好希望小学校に行きました。到着すると、龍の踊りで歓迎してくれました。ここでは、中国ごま、なわとび、切り絵に別れて体験学習をしました。中国の子ども達は、言葉は通じなかったけど、身振り手振りでいっしょうけんめい教えてくれました。私は、中国の子ども達は優しいなあと思いました。交流会では、「花は咲く」の歌と「エイサー」の踊りをしました。中国の子どもたちもリコーダーで演奏したり歌をうたったりして、私たちを歓迎してくれました。

竹鎮中日友好希望小学校に行くときには、長江という幅の広い川を渡りました。この川を渡るのに、バスで七分ほどかかります。中国は大きいなと思いました。

最終日は南京市から上海市まで新幹線に乗って行きました。中国の新幹線は日本の新幹線と比べて速度が速く、音も静かでした。中国の技術もすごいなと思いました。上海空港から飛行機に乗って福岡に向かいました。飛行機に乗って雲の上に行ったときは、下に雲が広がって、太陽の光が上から浴びる様子が不思議な感じがしました。

今回の中国訪問をして、今まで知らなかった中国の街の様子や文化をたくさん見て、知ることができてとても良かったです。また、中国の小学生とも仲良くなれてよかったです。これからも、いろいろなことに挑戦していきたいと思います。

中国訪問を通して

築城小学校 繁永 まりあ

私は日中友好事業で中国に行って交流を行いました。

まず、中国の町並みについては、夜は照明が多く、色とりどりに光るマンションやビル、お店があつて私の中に一番の印象として残りました。次は中国の食事です。中国の食事は私が日頃、口にするのとはちよつと違った味がしました。今回の中国訪問では、食事はほとんど中華料理のコースで、食後はいつもスイカが出てきました。また料理の食材では、鯉やアヒル、かもが出てきて、日本ではあまり出てくることのない料理がたくさん出てきました。さらに、中国の物価はとても安く、量が多い印象がありました。三日目にショッピングをしたときも、品物の値段が安く、日本よりもとても安いので、ついいたくさん買ってしまいました。また、中国の交通は道路が二つに別れていて、一つはバイクや自転車専用、もう一つは車専用でした。中国はバイクや自転車の数が多く、信号機にはあと何秒で変わりますよという数字が表示されていたので、日本よりもとても分かりやすかったです。道路を渡るとき気をつけなければいけ

ないことがあります。それは、バイクです。中国のバイクは電気バイクなのであまり音がしません。だから日本のように周りを見なくて音で判断すると事故に合う可能性があると思いました。

私たちは二日目に、まず都市企画展示館に行きました。ここでは、中国のこれからの成長（政治）についてや都市作りなどを学ぶことができました。私が率直に思ったことは「すごく建築が進んでいる」ということです。使いやすさや環境について考えて都市作りをしていることに驚きました。

その後、河頭小学校と築城小学校と姉妹校である薛埠中心小学に行きました。

一校目の河頭小学校では、私たちが到着するとちょうど全校でバスケット運動というものをしていました。全員音楽に合わせてバスケットボールをしていました。その後、学校の中で、歌を歌ったり踊りを踊ったりして交流を行いました。

午後の薛埠中心小学では、中国の子ども達と一緒にたこ作りをしました。たこ作りでは、言葉が分からなくても、お互いが思いやる気持ちを持って、ジェスチャーや顔の表情などを読み取って一緒にたこを作ることができました。改めて、人のことを思いや

る心をもつことはとても大切であり、忘れてはいけないものだと思います。その後に出し物の交流を行いました。中国の子ども達は元気いっぱい演技をしていましたが、私たちも負けることなく、声をしっかり出したり、かつこよく演技をしたりすることができたと思います。

三日目は午前には博物館に行きました。博物館では、日本との昔からの深い歴史や中国の科挙という勉強やテストの方法などについて学びました。

午後からは椎田小学校と姉妹校である竹鎮日中友好希望小学校に行きました。ここでは、中国ごまやなわとび、切り絵などをしました。中国の子ども達がやさしく教えてくれました。特に驚いたのが、中国の子ども達は日本語を少し話していたことです。例えば「びつくりした」や「そうなの」「どういうこと」など、日本語を使いながら話をしてくれました。私たちは、「ニーハオ」など少しのあいさつ程度しかできないのに、中国の子ども達の日本語の多さに驚きました。私たちも中国に行く前、研修で中国語の練習をしましたが、なかなか使うことができませんでした。中国の子ども達は日本のことに興味をもっているからこんなに日本語が上手なんだと思います。

した。私ももう少し中国語ができたらと思いました。また、中国の小学校のトイレにはドアがないのとトイレトペーパーがなかったのは、日本の方が良いなと思いました。

私たちはたった三泊四日しか行っていないので、中国の全体のことが見分けるわけではないと思います。しかし、私はこの四日で「食」についてもそうだけれど、文化や歴史の違い、建物の違いについて実際の目で見たり体験したりすることができました。行く前に思っていたイメージと大きく違いました。

このような体験をする機会を与えてくださった町長さんをはじめたくさんの方々のおかげで、中国に行けたことを忘れずに、たくさんの方に今回の交流で学んだことを伝えていきたいと思っています。

中国訪問をして

築城小学校 清水 楓果

十一月二十日から二十三日まで、三泊四日で私たちは日中友好交流事業で中国を訪問しました。中国に訪問する前に四日間、事前研修をしました。中国に行ったときに困らないように、あいさつの仕方や自己紹介の仕方を通訳の方に習いました。難しくてなかなかおぼえられませんでした。その他にも交流会でする出し物の練習もしました。私たちは「花は咲く」と中国の歌の合唱と、ソーラン節の踊りです。初めは恥ずかしくて大きな声が出せずにいました。練習を重ねて、大きな声が出せるようになりました。

私は中国に夜着いて、一番始めに思ったことは、ビルはライトアップされて光っているなということでした。食べ物も食べきれない程の量がいっぱい出てきました。そして、スイカが出たら、これで食事は終わりということを知りました。スイカは朝・昼・夕と毎食出ていました。中国では、一年中どこかでスイカが作られているということも知りました。

二日目に河頭小学校を訪問しました。この小学校は全校でバスケ

ットボールを使った運動をしていました。みんなとても上手でした。交流会では、中国の子ども達は一人で大きな声で歌ったり、ヒップホップダンスをしたりしているのを見ました。ここでは中国の子ども達とシールをはって絵を完成させることができました。中国の子ども達からのお土産は墨で描いた絵をもらいました。とても上手な絵でした。

午後からは築城小学校と姉妹校である薛埠中心小学を訪問しました。薛埠中心小学では、たこ作りをしました。中国の子ども達とは言葉は通じなかったけれど、何色で塗るか色を聞くと、マジックの色を指して聞くと通じました。色々な色を使って上手にたこを作ることができました。作ったたこをグラウンドであげることもでき、楽しかったです。初めは緊張していたけど、中国の子ども達がやさしく接してくれたので安心して過ごすことができました。国が違って、言葉も違うのに通じ合えたことはとてもすごいことだなあと感じました。また中国の子ども達と一緒に作業をしたいと思いました。

次の日の午前に行った中国科举博物館では、中国の歴史を詳しく知ることができました。科举試験場では、せまい机で三日間通して

試験が行われることを知りました。昔の中国のことをたくさん知ることができました。

午後は竹鎮日中友好希望小学校に行きました。小学校に着くと、子ども達が龍の踊りをして迎えてくれました。ここでは一緒に切り絵の体験学習をしました。中国の子どもとペアになって切り絵をした時、難しいところは中国の子どもがしてくれたので、きれいに仕上げることができました。その後は交流会を行いました。中国の子ども達はリコーダーで日本の曲を上手に吹いていました。また、ダンスもとても上手に踊っていました。私たちも大きな声で歌を歌ったり、踊りを踊ったりすることができました。

今回の中国訪問で、通訳の方がバスの中でいろいろなことを説明してくれました。

「中国では日本と同じで秋頃に紅葉の季節になること」「中国のお茶には砂糖が入っていて甘みが強いということ」「夏では四十度以上の気温が一週間近く続くことがあること」「若い人は都会の生活にあこがれて都会に行き、都会の人口が五百万人から一千万人に増え、農村の仕事をする人が減ったということ」「駐車場が少なく、車をとめる場所が少ないということ」など、住んでないとわからない

い事がたくさん聞けました。

私が中国に行って日本と違うなと特に思ったことは、自動販売機にはお金を入れるところがないということです。全部スマホを使って買い物をしているそうです。また、ごはんの時に出てくる飲み物は、全て白湯で冷たい水は好まれないそうです。

私は初めて中国に行って、知らなかったことをたくさん知ることができました。また、中国と日本の共通点や違う点をたくさん見つけることができました。そして、言葉が違っててもジェスチャーや表情で相手に自分の気持ちを伝えることができたことを知りました。これからもいろいろな国の人と接して、もっとたくさんのことを学んでいきたいと思いました。この中国交流事業に参加してとてもよかったと思います。

中国訪問

築城小学校 竹本 ひなの

私は中国に初めて行って感じたことは、中国は光る建物が多いということでした。バスに乗って見る景色の中に、ビルがたくさん建っていて、どのビルの表面も光っていました。

上海から金壇区までは約四時間半かかりました。中国で走っている車の中には、「日産」「ホンダ」などの日本製の車がたくさんありました。中国の車は左運転でした。中国のバイクは音がしないので、急に近くに来ていてこわいと思いました。食べ物最後は必ずスイカが出るようになっていて、料理は回るテーブルの上にたくさんのお出でしてきました。ホテルでは、トイレとお風呂が一緒でした。部屋の中はとても豪華でした。二日目はホテルに着くのが遅くなって、次の日の準備をしていたら、寝る時間が遅くなってしまい、あまり寝られませんでした。

二日目は、河頭小学校に行きました。着いた時、河頭小学校の児童がバスケットボール運動をしていました。全校児童がリズムに合わせてボールを地面についていて、上手だなと思いました。河頭

小学校の交流では、児童が踊っていたHIP HOPのダンスがキレキレでした。プレゼント交換では、くしをもらいました。このくしは昔の人の顔がかかれた美術品のくしでした。

午後は薛埠中心小学校に行きました。薛埠中心小学校では中国の児童と一緒にたこ作りをしました。たこを作るときに、中国の女子から「この色を塗って」というようなジェスチャーをしてくれて、ものすごく分かりやすかったです。他の色を塗るときも詳しく一生けんめいに教えてくれたのでうれしかったです。特にペアの児童と目が合うと「にこっ」としてくれて、とてもうれしかったです。

交流会では、合唱するとき先生から教えてもらったように、できるだけ上を向いて元気に歌うことができました。練習の時は下ばかり向いて歌っていたけど、上を向いて堂々と歌うことができて満足です。その後はソーラン節を踊りました。練習の時は少ししか声が出ていなかったけど、本番では大きな声が出せたと思います。プレゼント渡しの時も大きな声を出すことができました。

薛埠中心小学校ではものすごく大きいスクリーンに映像が映し出されていました。日本の小学校にあるようなものでなく、床から天井までの大きさで、とても大きかったです。

バスの中で中国についていろいろと説明をしていただきました。中国の人口の多さや自転車・バイクの多さなどです。実際外を見てみると、たくさんバイクや自転車が走っていて、自転車はレンタル自転車が多くあるということが分かりました。

三日目は、いつもよりぐっすりと眠ることができました。食事も日にちが過ぎるたびに少しずつだけおいしく感じるようになってきました。

街中にある信号機は日本の信号機と違っていました。日本の信号機は横に赤黄青が並んでいるけど、中国の信号機は縦に並んでいます。しかも、信号が変わるまでの時間が表示されていて、分かりやすくいいなあと思いました。

午前には科举博物館を見学しました。科举博物館の床一つ一つに同じ模様の物がきれいに敷き詰められていていいなあと思いました。壁の中にも説明用のテレビが埋め込まれていました。中国の昔の科举試験のようすがものすごくリアルに再現されていて分かりやすかったです。展示していた人間の様子は、手の先の爪までリアルに再現されていて、本物のようでした。その他に、韓国ドラマで見たことのあるような、男の人の頭の上につけているものもあり

ました。服装は身分によって違っていたということも分かりました。当時の王様が座っていた王座もありました。見る物全てが初めてで、楽しかったです。

午後は竹鎮中日友好希望小学校に行きました。ここでは、グループに別れて体験学習をしました。グループは、「こま」「なわとび」「切り絵」です。私は切り絵のグループに入りました。中国の児童に丁寧に教えてもらったり、中国の先生にたくさんアドバイスもらったりしました。最初は難しくて、こつが全然つかめなかったけれど、紙をしつかり押さえて強く切ったら上手に切れるようになりました。

四日目は、日本に帰る日です。帰る途中に見た中国は、高いビルがたくさんありました。中国の発展のすごさを見ることができました。飛行機に乗ってCAさんのかっこよさを改めて感じました。私も将来CA目指して努力していこうと思いました。

この日中友好事業で、中国のことやこれから努力することの大切さなど、いろいろなことを学ぶことができてよかったです。

中国訪問をして

築城小学校 森 珠吏亜

十一月二十日から三泊四日で中国を訪問しました。上海空港に着き、バスに乗ってホテルに向かいました。夜になってバスから街を見ると、高いビルが建ち並んでいて、ビルにはイルミネーションがついていて、どのビルもキラキラしていました。街の信号機もカウントダウンタイマーがついて、信号が赤から青に変わる時間を正確に表していました。日本にあると便利だろうなあと思いました。また、中国のガイドさんから日本では「ホテル」といいますが、中国では「酒店」と漢字で表しているということを教えてもらいました。また、中国のバイクは電動バイクのため音が一切せず、環境に良いなあと思いました。中国では、コース料理の最後には必ずスイカが出てきます。このスイカが出てきたら、料理はもう終わりだという意味だということも知りました。そしてスイカは中国のどこかで一年中栽培されているということも知りました。

十一月二十一日には、中国の歴史が展示されている金壇区展示館に行きました。展示館では、昔の町の様子の模型で、昔は堀に囲ま

れていたということを教えてもらいました。堀の長さは二十五キロメートルもあって、簡単には出入りできなかったそうです。

その後、河頭小学校に行きました。河頭小学校では全校でバスケット体操をしているところを見学しました。この体操では、みんなしっかりとそろっていてもきれいでした。交流会では、中国語が伝わらなくても、ジェスチャーや練習した簡単な中国語で中国の子ども達と話ができたので良かったです。出し物では、中国の子どもが一人で大きな声を出して歌っていたので感動しました。私たちもいっしょうけんめい声を出して歌いました。

午後からは薛埠中心小学校に行きました。薛埠中心小学校では、たこ作りをしました。ここでもジェスチャーを使って会話をしてきました。しかし、薛埠中心小学校では、英語でも会話をすることができました。

私たちがいた江蘇省には、日本と違うところがたくさんありました。

まず、道路の横にはプラタナスの木がずらっと植えられていました。夏は暑いので、この木で日陰をつくっているそうです。また、どの小学校にも大きな電子掲示板がありました。日本の小学校にも

こんなに大きな電子掲示板があるといいなと思いました。そして、中国の道路は三つに分かれているということです。車が走る道、バイクが走る道、人が歩く道と三つに別れていました。

自転車やバイクは、種類や色の同じ物がたくさん走っていました。どうして同じ物や色がたくさん走っているかガイドの人に聞いてみると「あれはレンタルです。」と教えてもらいました。「どうやって借りるのですか。」と聞くと、「スマホでバーコードを出して借ります。」と教えてくれました。日本でも「ペイペイ」などのアプリでお金をはらえるので、似ているところもあるなと思いました。

竹鎮中日友好希望小学校では、切り絵をしました。最初は何をすればいいか分からなかったけど、ペアの子が優しく仕方を教えてくれたので、上手にすることができました。交流会では、ペアの子が司会をしていて、私に笑顔で手を振ってくれたのでとてもうれしかったです。交流会で発表した中国のダンスは、手や足の動きがしっかりとそろっていたので、とてもきれいで感動しました。私もあんなにきれいにダンスを踊ってみたいと思いました。

竹鎮中日友好希望小学校の行き帰りには長江という大きい川を渡りました。この川の橋を渡るのに、バスで七分ほどかかりました。

とても幅の広い川でした。川には砂がたまってきた土地があり、そこにも家や工場がたくさん建っていました。中国はやっぱり大きなあと感じました。

最後の日は上海まで新幹線で行きました。南京から上海までの町並みは、あっちこちで工事が行われていました。また、三十階以上のマンションもたくさん建設されていました。中国は広く、平地が多いからこんなに高層マンションが建つんだろうなと思いました。

この中国訪問で日本と中国の違いを知ることができたし、中国の小学生ともジェスチャーや表情で会話することができました。これからもこんな機会があったら、チャレンジしていきたいと思います。ありがとうございました。

中国訪問をして

築城小学校 内山 雅晴

ぼくが中国交流事業に行きたいと思った理由は、本格的な中華料理を食べてみたいということと、中国の小学生の様子を見たり交流をしてみたりしたいと考えたからです。こんなことはめったにないから参加したいなと思いました。

夏休みに入って参加が決まり、その後パスポートをとりに行きました。二学期の運動会が終わって、いよいよ事前研修会が始まりました。四回の研修会で、ぼくたちは日本を代表して中国に行くから、しっかり学習してそのことをきちんと伝えなければならないと思いました。しかし、まだ中国のことをあまり知らなくて軽く考えていました。

一日目。ついに中国に行く日が来ました。十時に築城支所に集合して出発式をしました。出発式では、代表の人のあいさつや教育長さんのあいさつがありました。それが終わるといよいよバスに乗って福岡空港に行きました。空港に着くと、空港内をいろいろと歩いて回りました。その後、いろいろな検査をして、飛行機に乗りまし

た。中国まで二時間ほどかかりました。中国の空港は当たり前だけに漢字ばかりで書かれていました。それからバスに乗ってホテルに向かいました。バスに乗っている間、中国の街の様子を見ると、夜だったので、建物がライトアップされていてキラキラしていました。道路もライトアップされていてとても明るかったです。バスに五時間程乗って、ようやくホテルに着きました。ホテルに着くとすぐに夕食を食べました。機内食はほんの少ししかなかったけど、ホテルの夕食はおいしくて、たくさん食べることができました。その後、部屋に入ってシャワーを浴びてすぐに寝ました。

二日目の朝は、モーニングコールで起こされました。朝食はバイキングです。いろいろな料理をたくさん食べました。朝食をすませると準備をしてバスに乗りました。まず初めに金壇区の展示館に行きました。ここでは、昔の中国と未来の中国の様子を展示していました。中国の言葉などの文化を学んだりしました。展示館を見学した後、河頭小学校に行きました。到着すると、全校生徒がバスケットボールで体操をしていました。みんなとても上手にバスケット体操をしていました。その後、交流会が行われました。河頭小学校の出し物の歌と踊りは迫力があってすばらしかったです。ぼくたちも歌とエ

イサーをいっしょうけんめいすることができました。特に椎田小学校の「エイサー」はかつこよかったと思いました。

交流会が終わった後、昼食に行きました。ここでもごうかな料理が出てきました。ぼくは「豚の角煮」がとてもおいしかったです。白ごはんと一緒に食べられて特においしかったです。

昼ごはん後、築城小学校と姉妹校の薛埠中心小学校に行きました。ここでは中国の子ども達と協力してたこ作りをしました。その後作ったこでたこあげをしました。一緒に活動することで、中国の子ども達と仲良くなることができました。次に出し物の交流会をしました。ぼくは交流会で出し物の紹介係でした。練習したとおり、大きな声でしっかり紹介することができたと思いました。ぼくたちの出し物は「花は咲く」と「ソーラン節」でした。これも練習したとき以上に頑張ることができたと思います。

三日目もモーニングコールで目が覚めました。この日はまず科学博物館に行きました。ここで中国の試験の文化について学びました。その後、お土産を買う時間があつたので、おかしなどのお土産をたくさん買いました。昼からは竹鎮中日友好希望小学校との交流です。ぼくは中国の子ども達と中国こまやなわとびをして楽しみました。

その後、交流会でお互いに出し物をして交流を深めました。この交流会では、中国の子ども達のダンスがすごいなあと思いました。夜はホテルで豪華な中華のコース料理を食べました。久しぶりにジュースが飲めておいしかったです。また、この日はたくさんのお土産もいただきました。

四日目は帰国の日です。新幹線に乗って空港に行き、飛行機に乗って日本に帰国しました。飛行機から見える景色はともきれいでした。日本に帰ったらホッとしました。

ぼくはこの四日間で、中国に対してあまり良いイメージがなかったけど、実際に行ってみて中国の人達の優しさにふれて、中国に対するイメージが変わりました。小学生も大人もとてもやさしかったです。ぼくはこの体験を通して、自分の目でしっかりと見ることの大切さを学びました。またこのような機会があつたら参加したいと思います。

日中友好相互交流団に参加して

築城小学校 黒瀬 寛介

今回、日中友好相互交流団に参加して、中国に行つて初めての経験がたくさんすることができました。

中国に行く前はテレビで中国のニュースを見ると、空気が悪いとか川の水がきたないとか、正直悪いイメージが多くありました。しかし、行く前の研修会で先生が

「百聞は一見にしかず」

と言っていて、その気持ちを持って参加しました。

中国に着くと、景色は日本と大分違いました。日本の家は色々な形があるけど、中国では同じ色と形をした家がたくさんありました。川も大きくて橋も長く続いていました。海の上には風力発電がたくさん設置されていました。高速道路のパーキングエリアは、日本ではコンビニや売店程度ですが、中国ではショッピングモールのようにとても大きくてびっくりしました。建設中の三十階建てほどのマンションもたくさんありました。街は東京のように建物が高くて人もたくさんいました。中国は人口が多いと聞いていましたが、土地

も建物も何もかも大きくて広がったです。

二日目の朝、最初にホテル近くの展示館に行きました。ここでは中国の歴史を知ることができました。中国の大昔の村と今の街を模型で作っていて分かりやすかったです。中国の街を3Dの画面を見ながら自転車に乗って走ることができました。こんな物が築上町にもあったらいいなと思いました。

展示館のあと、河頭小学校に行きました。ここでは全校児童が一人に一個バスケットボールを持って、音楽に合わせてダンスをしていました。とても上手でした。午後には、築城小学校と姉妹校の薛埠中心小学に行きました。着くと子ども達が踊りを踊って迎えてくれました。その踊りは日本の踊りよりおとなしい感じがしました。交流では薛埠中心小学の女の子と一緒にたこ作りをしました。色をぬったりシールをはったりする時に、言葉が通じなかったのでジェスチャーをして作りました。ペアの女の子はとても優しく教えてくれました。作ったたこをグラウンドであげました。その後、ぼくたちは交流会でソーラン節を踊りました。練習の時よりも声を大きく出して一生けんめいおどることができました。言葉が伝わらない分、一生けんめい踊ったので、気持ち伝わって大きな拍手をもら

いました。交流会が終わってお別れをするとき、中国の人達がスキップをしながら手を振ってくれました。大人の人達も手を振って見送ってくれました。中国の人達の優しさを感じました。

三日目は、南京市の科挙博物館に行きました。ここは、中国の昔の役人になる人が試験を受けるところを展示していました。どのように勉強していたか、どのように試験があつたかをいろいろな展示物で説明してとても分かりやすかったです。中国の昔のえらい人の服の色や生活の仕方がよく分かりました。日本とはずいぶんと違っていました。

その後、商店街に行ってお土産を買いました。お金の単位が「元」でわかりにくかったけど、お札を出していけばおつりをくれるからと思って買い物をしていきました。ぼくが好きなガンダムのプラモデルがあつたけど、日本のとは違って、「ツノ」が違うところについていました。

この日の夕食では、南京市の政府の方が来て、ぼくたちを歓迎してくれました。この日の食事内容は特にごうかなものでした。中国の食事にもだいぶ慣れてきました。特に水ギョウザはとてもおいしかったです。最後に出てくるスイカも好きになりました。中国の牛

乳もとてもおいしくて、ソフトクリームのようにでした。

四日目は、いよいよ帰国の日です。バスや新幹線に乗って空港に行きました。新幹線は静かでとてもスピードが出ていました。空港で残りの買い物をして飛行機で福岡空港へ飛びました。

この交流事業に行く前は中国の空気を心配していました。しかし、空はきれいで全然心配することはありませんでした。日本と変わらないと思いました。

この四日間で、中国の文化や料理など、知らなかったことを知ることができました。中国に行く前はちよつと不安だったけど、中国の人達はとても歓迎してくれて優しく、安心して過ごすことができました。

とても良い思い出ができ、また中国に行きたいと思いました。

日中友好相互交流事業に参加して

築城小学校 末久 理依

私は築上町の日中友好相互交流事業に参加して、初めて海外に行きました。初めてのことばかりなので、緊張したけれど無事帰り、たくさんのことを学ぶことができました。

一日目は、ほぼ移動で、バスから飛行機、飛行機から電車、電車からバスで五時間ほどかかりました。一日目のホテルは維也納国際大酒店というところでした。着くとすぐに夕食を食べました。たくさん料理が並べられていました。着くのが遅かったので、寝るのが遅くなりました。

二日目は、朝は早く起きました。朝食はバイキング料理だったので、いろいろなものをもって食べました。しかしスープをとろうと思っただけで、さらさらしていて何が入っているか分からなかったので食べませんでした。中国語ができれば聞くことができたのにと思いました。

この日の午前中は河頭小学校の訪問です。引率の先生方も初めて行く小学校だったので、少しドキドキしました。河頭小学校はとて

も広くて大きな学校だったのでびっくりしました。着いてすぐに小学生がバスケットボールを使って体操をしているのを見学しました。子ども一人にボールを一個ずつ持って、バスケットボール体操をしていました。どの子ども達もとても上手にボールをあつかっていました。校庭も陸上競技で使うようなきれいな場所でした。校舎も広くて、ろう下のはしからはしまで五十メートル走ができそうなくらいでした。

交流会は校内で行いました。そこには映画館にあるようなスクリーンとイスが並んでいました。出し物では、中国の小学生の歌声がとてもきれいでした。一人でもはずかしがらずに大きな声で歌えてすごいなと思いました。

午後は築城小学校と姉妹校の薛埠中心小学に行きました。ここでは小学生とたこ作りをしました。中国の小学生に教えてもらいながら、たこを作って校庭でたこあげをしました。交流会では、私たちは「花は咲く」を歌い、「ソーラン節」をおどりました。中国は、先生方が中国の踊りを踊ったり、小学生が独唱をしたりしていました。踊りは日本とは違う中国の踊りでした。

この日のホテルは江蘇議事園酒店ということで、前日のホテル

とは全然ふんいきが違いました。部屋でテレビをつけると、ニュースやアニメなどいろいろな番組が放映されていました。

三日目になると、中国の雰囲気になれてきました。

午前には科学博物館に行き、中国の試験制度について見学しました。見学の後、お土産を買いました。お土産を買うと、入れてくれた袋には取って（持つところ）が輪になっていなかったし、ちゃんとした紙ふくろは、お金を出して買わなければならなかったもので、日本と違うなあと思いました。

午後には竹鎮中日友好希望小学校に行きました。初めに私たちは中国ごまの体験をしました。中国の小学生に教えてもらいながら、一緒に遊ぶことができました。交流会では「花は咲く」と「エイサー」をひろうしました。中国の小学生達はダンスと歌を歌いました。竹鎮中日友好希望小学校は二年前に建て替えられたそうで、学校がアパートかマンションの様な構造をしていました。この小学校のトイレにはドアがなかったのでびっくりしました。

この日のホテルも前の日と同じホテルだったけど、夕食は江蘇省政府の方との夕食会だったので、今までよりすごいおもてなしを受けました。

最終日もほぼ移動でした。ホテルで朝食を食べた後、中国でのお世話をしていた方とお別れをして、バスから新幹線、そして飛行機で福岡に帰りました。福岡からはまたバスで築上町に帰りました。

この日中友好相互交流事業を通して、中国の街や文化・食べ物などを実際に見たり体験したりして、たくさんのおどろきを経験しました。日本と中国の似ているところや違う所を見ることができてよかったです。

これからもこの日中友好相互交流事業をずっと続けていってほしいと思いました。

たくさんさんの経験をありがとうございました。

日中国際交流を通して

椎田小学校 大和 澤耀

無事に出発できた日中国際交流会。体調も良くなり、みんなと共に築上町を出発し、中国へ旅立ちました。一時間半の空の旅は、あっという間に過ぎ、中国に降り立った瞬間、築上町とは違い、気温の差が激しく、いつきに真冬になったように感じました。それから、バスで三時間ほど移動し、金壇の街へ到着しました。そして、初めての外国の夕食は、肉を使った料理が多く、種類もたくさんあり、おもてなしという心が良く伝わってきました。

次の日、金壇河頭小学校へ行く途中、電柱がないので、道路がすつきりしたように見えてすごいなあと感じました。

金壇河頭小学校に着くと、バスケットボールを使った体操をしていて、金壇の小学校で一番バスケットボールが強いと通訳さんを通して知りました。学校はとても大きく、バスケットボールのコートが二つ、バドミントンのコートが一つあり、校舎の壁にもバスケットボールのシュートの練習ができるゴールがあり、さすが一番強い学校だと強く印象に残りました。また、バスケットボールを使った

体操は、毎日欠かさず行っていると知り、ぼくたちも毎日欠かさず体を使った運動ができないかと考えさせられました。

交流会ではヒップホップダンスがあり、キレのある動きは迫力がありました。また、歌もあり、男女でとても高い音の歌を歌っていて、こんな高い音が出せるんだなと知りました。その後、三年生と一緒に紙皿にシールを貼り、名前を書きました。これは、思い出に残る大切な宝物になりました。

次に金壇薛埠中心小学校に行き、はじめに凼作りをしました。凼作りは、言葉が違うからとても難しそうだと思ったけど、ジェスチャーをして説明してくれたので、よく分かりました。その後、中国の人たちと一緒に凼揚げをして遊びました。運動場には、バスケットコート二つ、サッカーコートが一つあって河頭小学校に似ていました。

交流会では、薛埠中心小学校の先生のダンスがあり、なめらかで指先まできれいで落ち着いたようなダンスでした。このダンスは心を落ち着かせてくれるダンスだったのでとても印象に残っています。次に歌があり、女の子が一人でおどりながら歌っていてとてもすごいなと思いました。ぼくだったら、きんちょうして踊りながら

歌うのはとても出来なさそうだなあと思いました。しかし、この女の子に勇気づけられた感じがして、この先、もし大舞台に立った時は、勇気を出して恥ずかしがらずにしっかりと発表したいなあと思います。

三日目は、南京科学博物館に行き、昔の試験や試験を受ける仕方などを学びました。博物館には、昔の書類や本があり、それで勉強をしていたのかなあと思いました。昔は、試験問題の練習はどうやっていたのかなあと気になりました。また、竹で出来た竹簡を積み上げたところや瓦を積み上げたところもありました。かべに、漢字が細かく書かれているものもありました。壁の窓の工夫などもされていると知り、工夫がそんなことでも出来るんだなと思いました。そのあと、買い物の時間になりお店に行くと、日本と同じキャラクターがありました。それ以外にも、日本と似ているところがあつてとてもびっくりしました。けれど、すべて日本より安くてびっくりしました。

そのあと、竹鎮中日友好希望小学校に行き、ぼくは学校の人とペアになって切り絵をしました。切り絵は初めてで、ペアの相手から教えられてばかりでしたが、ジェスチャーで教えてくれたのでわか

りやすかったです。切り絵は難しく、力を入れると刃がまっすぐ通らなくて横にかたむいてしまうし、力を抜くと下の絵まで切れないので難しかったです。けれど、これがきっかけで切り絵に興味が出てきて、刃の持ち方や刃の向きなども知ることが出来たのでとても良い機会になりました。その後のダンスは、明るく楽しいダンスでした。リコーダーは、男の子や女の子も楽譜を見ずに、おだやかな風のようにふけていてすごいなと思いました。

この研修で学んだことは、今の日本では、他国の言葉を勉強する時代になっていますが、ぼくみたいに言葉をあまり知らない人が行ってもジェスチャーでコミュニケーションがとれること、異国文化を学ぶこと、他国の友だちが出来たこと、おもてなしの心をもつことです。この経験をきつと生かせる日が来ると思います。もう一度行けるならまた行きたいです。

中国でのたくさんの出会い

椎田小学校 橋本 健介

ぼくは、この研修でたくさん経験を通して、中国の良いところを知ることができました。四日間という短い期間でしたが、この研修を振り返ってみたいと思います。

まず、一日目です。朝、自宅を出発する時は、少し不安でした。出発式では二十二人の中国へ行く六年生と集まり、先生方の話を聞きました。校長先生の言葉で、「この交流訪問も七回目になります。しっかり自分の目で中国を見てきて欲しいし、体験したことを学校に帰って周りの友だちに伝えて欲しい。」とおっしゃっていました。すごく大切なことだと感じました。

飛行機やバスを乗り継ぎ、初日のホテルに着きました。上海の街は、思っていたよりも大都会で、きれいな町並みでした。バイクがすごく多かったのが印象的でした。翌日の交流があるから、その夜はすぐに寝ました。

次に二日目です。午前中は河頭小学校に、午後からは金壇薛埠中心小学を訪問、交流しました。ぼくたちは、日本で練習していた

エイサーを踊りました。笑顔で拍手してくれたので、とてもうれしかったです。言葉が通じなくても、気持ちは伝わるものだと感じました。河頭小学校では、ダンスや歌で歓迎してくれました。児童の数がとても多くて驚きました。一緒に図工の学習で、描いてある絵にシールを貼りました。ジェスチャーを使いながらシールを選ぶのが良い思い出です。

金壇薛埠中心小学では、凼を作りしました。中国の凼も日本の凼と似ていました。日本に帰って調べてみると、日本の凼のルーツは中国だということを知り、おどろきました。いっしょに作った凼を校庭で揚げました。少し風があつたので、うまく揚がりました。日本と中国の遊びのつながりを知り、親しみを感じました。

次に三日目です。午前中には、孔子廟・中国科学博物館を見学しました。博物館では、昔の中国の役人の試験のあり方を知りました。何百年何千年も前から、中国の人は熱心に勉強していたことに感心しました。昔の中国人の生活場面や文化の模型があり、とてもイメージが広がりました。

午後には、竹鎮中日友好希望小学校を訪問し、交流をしました。訪問するとさっそく、龍の舞で歓迎してくれました。赤と黄色で、

十メートルぐらいあり、とても迫力がありました。九州の長崎にも、長崎くんちがありますが、きつと関係があるのだろうと思いました。交流では、中国ごまや縄跳びをしました。中国ごまの使い方をていねいに教えてくれました。縄跳びでは、十人一組で長縄をしました。長縄はふだんから学校で練習をしていたので、中国の友だちと息を合わせることができ、とても楽しかったです。

夜には、ホテルで歓迎会を開いてくださいました。中国の方が、あいさつをされ、それを通訳してくれました。中国の言葉を話せるようになったらいいだろうなと思いました。歓迎会の食事は、中華料理でした。日本でもよく中華料理を食べますが、本場はひと味違いました。今まで見たこともないような鍋料理がありました。特においしかったのは、角煮です。口でとろけてとてもおいしかったです。中華料理がおかれている回転テーブルは、自分の食べたい料理を取り分けることができるので、とても便利だと思いました。たくさんのおもてなしに感動しました。

最後に四日目です。日本に帰国する日です。高速鉄道と呼ばれる日本でいう新幹線に乗りました。ぼくの見た中の最高速度は三百三キロメートルでした。日本の新幹線に似ていると思いました。とて

も快適でした。上海空港から、福岡空港まで一時間十五分でつきました。日本と中国の時差は一時間なので、それほど時差に変わりを感ぜませんでした。

築上町に到着して、解散式がありました。

四日間の研修を通して、たくさんの体験をすることができました。同じ年の中国の小学生と一緒に授業に参加できたことが、一番の思い出です。国際交流をしたことで、相手の国のことをもっと知りたと思いました。日本のニュースを見ていると、政治問題で日中関係が良くないということをよく聞きました。今回のような交流で、日中関係が良い方向に向かっていけばいいなと思いました。また、今回の経験を家族や周りの友だちにも話をしたいと思います。大人になって、もう一度中国に行ってみたいです。

最後に、今回の研修をお世話くださった多くの方に感謝します。本当にありがとうございました。

中国に行つて

椎田小学校 持田 真寛

ぼくは、中国の小学校と交流をするために中国を訪問しました。そこで、いろんなことを学び、考えました。

一日目は、十時二十分に築城支所を出発し、午後三時二十分に上海空港に着きました。そしてその空港の大きさにびっくりしました。九州でも一番大きな都会の福岡空港でも、上海空港の十分の一くらいだったからすごいなと思いました。

空港からバスで宿泊先のホテルに行く時に見た町並みは、プロジェクションマッピングなどに照らされて、とても明るくきれいでした。道路を通っている車を見ていると、知らない車もあったけど、マツダやトヨタなどの日本車も多かったので、日本車は中国の人に人気があるんだなと思いました。ホテルに着いてから中国の漢字を見ていると、日本の漢字とかなり違って、今まで同じかなと思っていたからとてもびっくりしました。一日目から、日本と中国の違いが分かりました。

二日目は、金壇都市企画展示館を見学しました。一日目に、バス

から見た景色はビルなどの建物が多く、自然は少ないのかなと思ったけど、実際には山や川、湖もあって、とても自然に恵まれているところだなということが分かりました。

展示館に行った後は、河頭小学校と金壇薛埠中心小学に行き、交流会をしました。どちらの小学校もダンスや歌を一人や少数数でしていたけど、動きも声もとても大きく、日本人とは対照的だなと思いました。薛埠小学校で風を作る時にパートナーだった王君がとてもすてきな笑顔で作り方を教えてくれたから、中国の人の心の温かさに感激しました。時間はあまりなかったけれど、とても良い交流会ができて良かったです。交流会が終わって、小学校のトイレに行ったら、日本のトイレとずいぶん違っていたから、国が違ふとこんな所も違うのかと思いました。

バスで南京のホテルに行っている時に、電動バイクや電動自転車が多く、バイクや自転車専用の道路があり、とてもびっくりしました。高速道路を通っている時に、日本の高速道路の最高速度は百kmだけど、中国の最高速度は百二十kmだったから速いなと思いました。

三日目は、南京科学博物館で中国の歴史を見学しました。日本で

は、昔、紙の代わりに木簡を使っていたけど、中国では竹を使った竹簡を使っていました。今まで、同じ木簡を使っていると思っていたので、違っていたからびっくりしました。次に中国の昔の試験について学びました。試験の時間はとても長く、九日間を三日間ずつ分けてしていると聞いて、ぼくは一時間でも長く感じるのに、三日間も同じ場所に座って試験をするなんて、ぼくには絶対にできないと思いました。

そのあと、椎田小学校の姉妹校の竹鎮中日友好希望小学校に行く時に、揚子江（長江）という川の上の橋をバスで通りました。揚子江はとても川幅が広く、渡り始めてから渡り終わるまで高速道路で七分もかかってびっくりしました。日本の琵琶湖と比べたらどのくらいなのかなと思いました。

小学校に着いた時の出迎えが、長崎くんちの龍おどりのようでした。さらに、足に竹馬をくくりつけていて、ぼくだったら何十回してもできないだろうと思いました。授業交流では、中国ごまのグループになりました。ぼくは、中国ごまをしたことがなかったけど、教えてもらったら少しずつコツを覚えていって、やっているうちにいろんな技を教えてもらってとても面白かったです。

交流会では、校長先生が中国の子どもたちの写真を撮る時に笑顔で「はい、チーズ」と言ったら、ちゃんとそれに答えて笑顔で写真に写っていたから、笑顔は世界共通だなと思いました。中国の子どもたちは、リコーダーで日本の曲を演奏してくれてとてもうれしかったし、日中の仲の良さが伝わってきました。

四日目は、いよいよ日本に帰国する日です。ぼくたちは、バスで南京駅に移動しました。中国では、新幹線に乗るのにもパスポートが必要で、日本では見せなくても乗ることができるから、そんなことも国が違うと変わるんだなと思いました。

上海空港では、いろんな人種の人っていて、福岡空港には日本人やアジアの人くらいしかいなかったのですごいなと思いました。

中国に行った四日間はいろんなことを学び国際交流の大切さがよく分かりました。これから、友だちにも交流の大切さを教えて、いろんな国の人と交流し、言葉が通じなくても、心で通じ合える人になっていきたいです。

中国訪問を終えて

椎田小学校 永岡 佳穂

私が、中国に行きたいと思った理由は、中国の方と友好を深めるという貴重な体験ができるからです。そして、外国という知らない土地に行ってみたいと思ったからです。抽選で当たったときには、とてもうれしかったです。日本の代表として、責任をもって交流しようと思ったしました。

それから、事前研修をしました。中国語の練習と、交流会の出し物、中国語の練習をしました。中国に行つて困らないように、集中して勉強しました。四回の研修を終えて、ようやく中国に行く日が近づいてきました。荷物も責任をもってすべて自分で用意しました。

そして、いよいよ中国に行く日になりました。福岡空港から離陸した時、初めての場所に行くことの喜びでわくわくしました。飛行機は、真っ白な霧のような雲の中を通り、砂地が見えてきました。それから上海空港に着きました。上海空港では、ほとんどの人が中国語で話していて、「中国に着いたなあ」と実感することができま

した。空港には、受付に行くために電車が走っていて、電車がくるまでの時間がカウントダウンされていました。電車の中は、手すりが見ん中にあり、座席は少ししかありませんでした。車いすの人も使いやすそうでした。

それから入国審査をすませて、バスでホテルへ向かいました。町並みは都会で、高層ビルがたくさん建っていました。ビルは、ライトでイルミネーションされていて、色とりどりきれいでした。

また、街中を走っている車には、トヨタや日産、ホンダなどのメーカーがありました。ちなみに、日本は「自動車国」と呼ばれるほど、性能がよく、たくさん車を外国に輸出しているらしいです。

二日目は、都市展示館、河頭小学校、金壇薛埠中心小学に行きました。都市展示館では、これからできる建物や今、建設中の建物の模型、昔の町の様子の模型などがとても細かく、これからの中国、今までの中国を知ることができました。そして、サイクリングで町中を走るVRや街の様子を紹介しているVRなどがあり、中国は技術が進んでいることが分かりました。

河頭小学校との交流では、バスケットボールを使った体操、ダンス、歌を披露してくれました。バスケットボールの体操はみんなそ

ろっていかつこよかったです。六年間毎日やっているそうです。ダンスは、ヒップポップダンスで、動きにキレキレがありました。歌はきれいな歌声で、言葉は分からないけど、一生懸命歌っているのが分かり、すごいと思いました。私たちは、エイサーと歌を披露しました。エイサーを踊り終えたあと、たくさんの拍手をもらいました。とてもうれしかったです。

金壇薛埠中心小学では、凧づくりを小学生と一緒にし、その後、先生方のダンス、歌を披露してくれました。凧づくりでは、身振り手振りで優しく教えてくれて、とても楽しかったです。一緒に笑ったり、喜んだりすることができました。交流会では、先生方は歌に合わせてダンスをなめらかに踊っていてきれいでした。歌は恥ずかしがらず、大きな声で歌いながら踊っていてすごいと思いました。帰りに凧と一緒に作った人があいさつにきてくれ、最後まで手を振ってくれました。とてもうれしかったです。

三日目は、中国科学博物館と竹鎮中日友好希望小学校に行きました。

中国科学博物館では、昔の中国の試験のことを学びました。竹簡、瓦、文字がそれぞれ壁一面にあって迫力がありました。

竹鎮中日友好希望小学校では、中国ゴマを教えてくださいました。優しく教えてくれて、技を一つ覚えることができました。交流会では、ダンス、リコーダーを披露してくれました。ダンスは、隊形移動があり、すごかったです。リコーダーは、音が外れる人がいなくてきれいな音色でした。

この中国への訪問で学んだことは三つあります。

一つ目は、国籍・言葉が違っても仲良くなれることです。言葉が違ってても身振り手振りで気持ちを伝えることができます。だから、私は外国の方と仲良くなることにチャレンジしてみようと思いました。

二つ目は、国との違い、それぞれの良さが分かりました。中国はみんなが便利で使いやすいように技術が発展しています。日本は神社やお寺、着物などの伝統を大切にしています。

三つ目は、公共のマナーです。みんなが気持ちよく過ごせるよう、相手のことを思うことが大切です。

他にも、たくさんのことを学びました。中国の良さをたくさんの人に教え、もっと友好関係を深められたらいいと思います。

中国で学んだこと

椎田小学校 家令 愛

私が中国に行きたかった理由は、私の将来の夢が看護師なのです
が、これからの患者さんは日本人だけではなく、中国やいろいろな
国の方がいると思うので、中国のことを知っているといいかなと思
ったからです。

中国行って、わかったことが四つあります。一つ目は、上海空
港の大きさにびっくりしたことです。人もたくさんいました。二つ
目は、電動バイクは音がしないということです。本当にそれが一番
不安でした。三つ目は、料理の一つ一つがおいしかったということ
です。四つ目は、ホテルがものすごく豪華だったことです。それ以
外でもびっくりしたことや勉強になったことがたくさんありまし
た。

まず、一日目はバスに乗って福岡空港でキャリーバックの検査を
して飛行機に乗りました。上昇する時に、耳に変な音が鳴りました。
そして、機内食が出ました。私はあまり好きな味ではなかったです。
中国に着いて、また、バスに乗ってホテルに行きました。そして、
初めての中国のご飯をホテルで食べました。私の思っていた味じゃ
ないものもあったけど、ほとんどがおいしいものでした。ホテルは、

二人で一部屋でした。部屋の番号を教えてもらって部屋に入ると、
すごく豪華でびっくりしたし、広くてちょっと私にはもったいない
気がしました。寝ようとしたら、明日のことで二人とも一つ書き忘
れていたことがあったので、友だちの部屋に聞きに行って戻ろうと
したら、かぎがかかって入れなくなっていました。なんとか先
生たちが助けてくれて寝ることができました。忘れられない思い出
の一つです。

次の日の朝、服に着替えてホテルのバイキングに行きました。料
理は、いろいろあっておいしかったです。驚いたことは、先生たち
が「中国は、ご飯の後に絶対スイカが出る。」と言っていたとおり、
バイキングにもスイカやフルーツがありました。

朝食の後、ホテルからバスに乗って河頭小学校に行きました。学
校に入った時、全校児童がバスケットボールを音楽に合わせてトン
トンとついていました。一人一人そろってびっくりしました。
交流会では、会場で女の子二人と男の子一人の三人でヒップホップ
ダンスを踊ってくれました。一番驚いたのが、一人の女の子が歌い
ながらとてもキレイなダンスを踊ったことです。とても心に残りま
した。また、メイクをしていて肌が白く見えてうらやましかったで
す。河頭小学校訪問の後、お昼ご飯を食べました。ご飯はいつもど
おりで、最後のフルーツはツリーのようなものにドライアイスで冷

やされてつるされていきました。

お昼ご飯が終わって、少し歩いたりすると日本より日光が強く感じました。

二日目のホテルは四つ星ホテルで、昨夜のホテルよりもさらに豪華だったのであまりのんびりできませんでした。朝ご飯は、前のホテルと似ていて、とてもおいしかったです。

三日目は、まず中国科学博物館に行つてたくさんのことをしっかりと学びました。

次に竹鎮中日友好希望小学校に行きました。その学校では、私は小学生とペアになって凼を作りました。「言葉は通じるかな。」と思ったけど、ペアの子が手振りで教えてくれました。実際に外で凼をあげる時に、ナップサックを持ってくれたり、LOVE愛とか言うってくれたりして涙がでそうでした。

最後の夜の食事は、すごい部屋でびっくりしました。椅子に座ると「コーラかスプライトか」と聞かれたので、本当に豪華というのはこういうことなのだなど初めて思いました。最後のデザートに、きなこみたいなものがかった餅がありました。とってもおいしくて学校の給食に出たらうれいなあと思いました。

この時、明日帰ると思うときみしいような気持ちがとても強くなり、この三日間のことを思い出して涙が出そうになりました。先生

たちや中国の子どもたちに「ありがとう。これからもよろしく願います。」と言いたいです。思っていたよりいろいろ大変なこともたくさんあったし、逆に思っていたとおりに進んだこともたくさんありました。「中国にぜひ行きたい。」という思いから、申し込みをして本当によかったと心から感謝で一杯です。

ぜひ、来年の五年生も申し込みをして中国に行ってくれたら、私もうれいし、先生たちも中国の人ものとも喜んでくれると思います。行つてみて、後悔することは絶対無いと思います。将来の夢がある人は行つてみると、将来につながるのではないかと思います。中国の人はとても優しく、日本の人が思っているよりもすきな方がたくさんいます。

貴重な体験もできます。例えば、中国はトイレットペーパーが無いトイレがあり、ティッシュを持って行かなければなりません。日本ではトイレットペーパーがあるのが当たり前で、日本のトイレのありがたさが分かります。

これからも学んだことを活かしながら学校生活をがんばってきたいと思います。将来にもつながることなので、絶対中国に行つたほうがいいと思います。

中国の研修に行ってみて

椎田小学校 西田 優明

私は、中国の研修に行ってみて、日本とは違った建物や食べ物、それに中国の文化などについて、たくさんのことを学びました。

まず、中国についておどろいたことは建物が大きかったことです。バスで移動していると、とても高いビルが何軒も建っていたことにびっくりしました。さらにすごかったのは、建物からカラフルな色をした光がいっぱい出ていたことです。夜は、バスの中を暗くしていても、外の光で明るくなっていてすごくきれいでした。途中で止まって休憩をしたサービスエリアでも、噴水の所もカラフルな色になっていてものすごくきれいでした。その時買ってもらった肉まんを食べてみると、日本とは違う味で食感も違和感は少しあったけど、ものすごくおいしかったです。

そして、ホテルについて夜ご飯をみんなで食べる時に、私はおどろきました。日本では見たことも食べたこともない食べ物がいっぱいあったからです。さらに、食べている途中にいっぱい食べ物が出てきたのにびっくりしました。だから、すぐにお腹いっぱいになりました。その後、部屋に行くと日本に負けないくらいきれいでした。

た。

次の日、朝食でパンを食べました。やっぱり日本と名前や形などが同じような食べ物でも、味や食感は違うんだなと思いました。日本で食べたことない中国の食べ物を、たんのうできてうれしかったです。

食べ終わった後、バスで河頭小学校に行きました。着いた時、私はびっくりしました。全校のみんなが、音楽のリズムに合わせてバスケットボールをしていたからです。それが、毎朝ラジオ体操のようにしていることを知り、すごいなと思いました。そのあと、小学生と一緒に交流会を行いました。中国の子どもたちは、歌を歌ってくれました。歌でいろんなこと表現していてすごかったです。そして、最後に小学生と一緒に交流の記念に、紙皿にシールをどこに貼るかなどを考えて楽しく貼れたのが良かったです。

昼食の後、午後、金壇薛埠中心小学に行きました。小学校の入り口の両側に、みんなが中国と日本の国旗を持って立っていて、日本語で挨拶をして出迎えてくれたので、本当にうれしかったです。

それから、私たちと年が同じくらいの子たちと一緒に凧を作りました。その時、一生けんめい優しく教えてくれたので、心が打ち解けました。楽しく凧に絵を描いて、そのあと作った凧と一緒に運動

場で揚げたりすることができたのが良かったです。中国の子とも、笑って仲良くなって風揚げができたので、うれしかったです。その後の交流会では、みんなで「花は咲く」を歌いました。中国の人にどれだけ災害がすごかったのかを、歌っている時に表現できたのは良かったです。ここまで仲良くなれたのは、きつと心がつながり合えた証だと思います。

次の日は、孔子廟にある南京科举博物館に行きました。昔の試験の様子や本の始まりなどについて詳しく学びました。昔は竹に字を書いて、それをひもで結んだことから本が始まったことなど、いろんなことを学びました。その後、広場に出て初めて中国の道路を歩いた時は、バイクの音などが全くなく、聞こえないのでひかれそうになりました。

博物館の近くでおみやげを買う時に、百元や十元・五十元など見たことのないお札で、一元が何円か分からなかったです。それで、買うのに戸惑ったりしたけど、一元が十六円と知って買い方などが分かりました。

食事の後、竹鎮中日友好希望小学校に行く時に大きな橋があった、バスで通るのに何分かかかるかみんなで予想をしました。そうしたら、七分かかりました。川の中には広い土地があり、家などが建

っていて、本当に川なのかなと思いました。中国には、揚子江（長江）という大きな川があることを知りました。

竹鎮中日友好希望小学校についてから、すごいと思ったことは、小学生が棒を足につけて竹馬のように足踏みをしながら龍がついた棒を右左に回して、出迎えてくれたことです。それも中国の文化なのかなと思いました。

交流では、小学校の子と一緒に切り絵をしました。切り絵は中国の文化だそうで、中国の子はうまかったけど、私が切ると汚くなつてしまいました。切り絵は、思った以上に難しかったです。だけど、このような体験ができて良かったです。

わたしは、中国に来て、いろんな学校に行って中国の文化に触れてみて、中国の人のすごさなどについて学んだりして、中国と日本の友好を深めることができたと思います。食べ物や建物も違っていて、楽しく学ぶことができました。

また、中国に行く機会があったら、今度は学んできたこと以外にも、どんなことがあるか知りたいです。

築上町日中友好相互交流事業を終えて

椎田小学校 藤井 輝

私は、この交流を終えて、たくさんのことを学ぶことが出来ました。中国の風景や料理、いろいろなことが日本と違うということがよく分かり、テレビやインターネットを見て入ってきた中国の情報と実際に見た中国は違うなと思いました。

まず、日本と中国を比べて違ったところは、トイレです。日本には洋式のトイレがありますが、中国は和式が多く、トイレトペーパーもない場所があり、とてもおどろきました。他に違うところもありました。道路は、日本と違い右側通行で、バイクや自転車専用の道路であり、バイクは全然音がしませんでした。

インターネットなどを通して知った情報も、あまり正しくないということが分かりました。空気が汚いといわれていたけれど、日本と変わらないぐらいで、マナーの悪い人もそんなにいなくて、良い人がたくさんいました。あいさつをすれば笑顔であいさつを返してくれる人もいて、やっぱり、実際に行ってみるのは、とても大切なことだと思いました。

中国の小学生たちと交流して、言葉が伝わらなくても、身振り手振りですっかり伝わるということが分かりました。この交流をする前までは、「言葉が伝わらないとどうしよう」ということが一番不安だったけど、たこ作りをするときにも、一生けんめいていねいに教えてくれて、とてもうれしかったです。

中国の小学校の講堂には、さすがたくさん並び、大きな電光掲示板もあって、すごいなと思いました。中国は、機械類が全体的に進歩していると思いました。いつも夜は、周りが明るく、光を使ったものがたくさんあり、日本の都市と変わらなくらいすごかったです。

金壇河頭小学校では、授業の間にバスケットボールを使用した体操をしていて、全校でリズムをそろえることが出来ていてすごかったです。でも、中国の他の二校では体操をしていなかったの、やっぱり日本の小学校と変わらないように一つ一つの小学校ですることが違うんだなということが分かりました。

竹鎮中日友好希望小学校でした縄跳びも、二人で飛んだりしながら飛んでいてすごかったし、他の小学校の人たちの踊りや歌も、日本と違うところをたくさん見つけることが出来ました。

駅や空港にはたくさん人がいて、とても混み合っていました。新幹線に乗る時、飛行機に乗る時も、たくさんの人が並んでいたし、道路を渡る時も、たくさん車が通って渡りにくかったので、中国はとも人口が多いということが分かりました。人口が多いので、一度にたくさんの人をいろいろな交通手段で運ぶことができ、交通費を減らせるのはとてもいいなと思いました。

料理は、辛い料理や甘い料理もありました。スイカが出ると、料理が終わりの合図ということを知っていて、とてもおどろきました。スイカを最後に出すというようになっていたので、年中スイカを食べることができは、少しうらやましかったです。それに、冬は温かい水しか飲まないということを知ることができました。テーブルは、回るテーブルで好きなだけ料理を取ることができ、どんどん新しい料理が出てきて、毎日お腹いっぱいになるんじゃないかなと思いました。

私は、中国を少し誤解していた部分もありました。だけど、実際に、中国に行ってみて悪いイメージはほとんど無くなり、とても良いイメージがたくさん増えました。三泊四日の短い期間で、まだまだ知らないことはたくさんあるけど中国のことを良く知ることが

できて良かったです。これからは、家庭のことまで良く知り、中国の良いイメージを学校や外にも伝えられるようにしたいと思います。よく中国語がわからなくて、少ししか話すことができなかったけど、笑顔で簡単な中国語・英語を話して、中国の小学生の人たちと仲良くできてとても良かったです。

これから、たくさんの方々とふれあい、もっと、中国との交流が続いていけばいいなと思います。そして、中国と日本の友好が続く、お互いの文化をお手本としながら、中国・日本、どちらの国も、もっと良い国になるための小さな一歩にでもなればいいです。また、たくさん中国語を勉強しながら、もっとたくさん中国ならではの文化を知っていききたいと思います。短い期間だったけれど、たくさん中国のことを学ぶことができて良かったです。

中国に行つて

椎田小学校 吉原 琉唯

ぼくが、日中友好交流訪問団に参加しようと思ったのは、「飛行機に乗ってみたい」「いろいろな経験をしてみたい」と思ったからです。

十月六日から、四回研修がありました。研修では、中国語の練習、あいさつの練習、交流会の出し物の練習などをしました。交流会の出し物は、おどり（エイサー・ソーラン節）と歌は（花は咲く・春天在かり）です。初めて習う中国語は発音がとても難しく、声を上げたり下げたりすることを知りました。

十月二十日、いよいよ出発の日が来ました。行くのが楽しみでワクワクしました。出国の時、パスポートを渡した後、カメラで顔認証をして通ることが出来ました。いろいろ検査をした後、飛行機に乗りました。上から見ると町や海、雲はとてもきれいでした。最初の夢がかないました。

約二時間で上海に着きました。時差は一時間、着いて時計を一時間前にずらししました。

校長先生が行く前に言っていたお話を思い出しました。

「テレビやニュースで知る中国のイメージは、悪いかもしれないけど、訪問するところの人たちは日本人をとて歓迎してくれる。イメージで勝手に判断するのではなく、実際に自分の目で確かめて下さい。」という内容でした。

空港を出て、中国の町のメイン通りには高層ビルが建ち並んでいて、バイクが車より倍くらい走っていて、バイクと車が通る道路が分かれていておどろきました。しかし、都会から一歩出ると、田んぼが広がっていて、都会と田舎の差が激しいなと思いました。一日目は、バスで長い時間移動して、夕食を食べて終わりました。

二日目、金壇都市企画展示館へ見学に行き、昔の町と今の町の模型を見ました。そして、金壇河頭小学校に行きました。バスから降りたら、バスケットボールの体操で迎えてくれました。ボールを使ってハンドリングやドリブルをしていました。とてもそろっていてきれいでした。ぼくは、バスケットボールを習っているけど、自分の出来ない技をいろいろしていたのすごいなと思いました。そして、同じスポーツを見たということで、それまでのきんちようがとけました。

その後、校舎に入って交流会が始まりました。ぼくたちは、踊りと歌をひろうしました。中国の人たちが真剣に見てくれました。中国の人たちは歌を歌ってくれました。その歌声はとてもきれいでおだやかな曲でした。その後、記念品交換をして、図工の授業をしました。

次に、二校目の金壇薛埠中心小学に行きました。ここでは、凧作りの授業と一緒にしました。言葉は通じなかったけれど、ジェスチャーでうまく作ることが出来ました。糸がなく、あげることができなかったのが残念でした。その後、交流会をしました。

三日目は、中国科学博物館に行きました。科挙試験制度に関するある道具や、部屋で勉強をしている模型などがありました。かなり昔に、すごい試験制度があつて何日も試験をして、命を落とす人もいたそうです。ぼくには難しくてよく分からなかったけれど、その頃の中国の人の髪型や服装を知ることが出来ました。見学の後、商店街みたいな所で買い物をしました。中国のお金はお札とコインでした。日本は何円で、中国は何元でした。品物に値札はあつたけれど、日本円だといくらなのかを考えて買ったり、中国に行った記念になるものを探るのが楽しかったです。ただ、かも肉を試食してお

いしかつたけど、無理矢理買わされてびっくりしました。

次に、三校目の竹鎮中日友好希望小学校に行きました。ここでは、交流会の他に中国ゴマ、縄跳び、切り絵の授業に分かれました。ぼくは、中国ゴマと縄跳びの班でした。中国ゴマは小学校でやったことはあつたけれど、ちゃんと教えてもらったのは初めてでした。ぼくはコマを回すことは出来るようになったけど、中国の人はすごい技をみんなが出来ていておどろきました。縄跳びも一緒に跳べて楽しかったです。三校の小学校の交流会を通して、ぼくは、言葉が通じなくても一つの目標に向かいながら身振り手振りでお互いを知ろう、理解しようと思うことで、心が通じ楽しい時間を過ごせるんだと思いました。

他にも中国に行つて、場所によっては扉のないトイレがあることにおどろいたり、初めて回転式テーブルで中華料理を食べたりと、いろいろな経験が出来ました。同時に日本の良さも分かった四日間でした。

ぼくが、自分の目で見て感じたことを友だちに伝えて、多くの人に中国のことを知って欲しいです。

中国に行つて

八津田小学校 岡部 心優

出発の日

築城支所を出発して、バスで一時間。飛行機でおよそ一時間。中国についてバスで三、四時間の移動。緊張していたせいかとても疲れて食欲もあまりありませんでした。でも意外とごはんがおいしくて自分なりにたくさん食べることができました。特にバスで食べた野菜まんじゅうがおいしかったです。中国の夜の風景は、建物のイルミネーションがとてもきれいだなと思いました。他にも高速道路が光っていたり、演出の赤と青の炎などが見えたりして、中国の夜は、日本より明るいなと思いました。

金壇河頭中心小学、金壇薛埠中心小学

金壇河頭中心小学では、エイサーと「春天在那里」（中国の歌）を披露しました。歌を歌う時、ちゃんと歌えるかなと心配しましたが、なんとかがんばって歌えました。バスケットボールのリングがたくさんあってびっくりしました。

金壇薛埠中心小学では、凧作りを中国の小学生といっしょにしました。凧はできたのですが、糸がなく、ペアの人ともはぐれてしまつて結局飛んでいる凧をながめるだけになってしまいました。ながめるだけでも結構楽しかったです。

この小学校では、「ソーラン節」と「花は咲く」を披露しました。ソーラン節を披露した時には、なぜか練習の時より大きな声が出ました。気合いが入っていたのだと思います。

「花は咲く」を歌う時は、高音が苦手なので、高音が出せるように精一杯の声を出しました。

中国の学校の出し物も見ることができました。中国の学校の出し物は、少人数でやっている出し物が多いなと思いました。特に、独唱の声が大きくてはつきりしているのはすごいなと思いました。

お土産交換の時には、まさか全員分用意してくれていたとは思わずびっくりしました。一番驚いたのは、中身です。おじぎをする顔が変わる人形、三つの鈴が付いたキーホルダーと小さな凧の模型が入っていました。

ちなみに、金壇河頭中心小学では、灰色の竹のくしやわたしには全く読めない文字ばかりの紙をいただきました。家に帰つてしつ

かり解読したいと思いました。

南京科举博物館、竹鎮中日希望小学校

まず、南京科举博物館を見学しました。ここでは科举（中国の難しい受験）について学びました。四つの試験があつて、九日間一つ三日で試験をするそうです。一つに三日かかるなんてどれだけ難しい試験なんだろうと思いました。それと試験をする場所も見ることができました。思っていた以上に、狭い場所でした。こんな狭い場所で九日間も試験を受けるのは大変だろうなと思いました。

次に、竹鎮中日友好希望小学校へ行きました。一番先に目に飛び込んできたのは、お出迎えの龍のおどりでした。なめらかに動いてしかも操っていたのは、竹馬のようなものに乗っていたのです。すごいなと思いました。

授業に参加したときに、わたしは、中国ゴマをしました。みんな投げる技をやっているすぐうまいなと思いました。周りの人から「あなたもやってみたら」と強く進められたので、投げてみるとちよつとしか飛ばなかったり、落としたりしてうまくはいきませんでしたが楽しい一時でした。

中国に行くまでは、緊張して不安も大きかったですが、実際に中国に行ってみて、驚いたことや楽しかったことがたくさんありました。三泊四日は長いなと思っていましたがあつという間に四日間が過ぎていきました。

今回の中国訪問は、わたしにとつてとてもよい体験になりました。このような機会をいただき本当にありがとうございます。

百聞は一見にしかず

八津田小学校 佐々木 想一朗

ぼくが、今回、研修に参加する前に中国にもつていたイメージは、空気が汚くて、マナーが悪い人達が多いというものでした。けれど、中国に実際に行ってみてまず感じたことは、「百聞は一見にしかず」という事でした。日中の関係があまり思わしくないにもかかわらず、僕たちを迎えてくれた中国の方々は、思っていたものとは全く違いました。

例えば、上海の空港で会った全く知らない中国の方が、僕に笑顔で話しかけてきました。中国語は分からないけれど、孫さんに教えてもらった簡単な中国語の中に「リーベンレン」（日本人）という言葉があり、その方も「リーベンレン」と言っていたので、僕は、「イエス」と答えました。するとその中国の方は、「オー」といって、握手してくれました。その瞬間、僕のもっていた中国へのイメージが一気に変わり、この研修がとても楽しみになってきました。見る風景も思っていたよりきれいで、僕たちが住む町とあまり変わりありませんでした。

交流一日目の金壇河頭小学校には、バスケットコートが2コートとリングがたくさんあって、その都市では、バスケットボールがとてもさかんなのかなと思いました。その小学校では。授業の間に、バスケットボール体操というものをしていて、その曲に、日本の「ロード」という歌を使っていました。僕は、日本の歌が中国でも愛されていることをうれしく思いました。

次に、金壇薛埠中心小学校の生徒に風の作り方を教えてもらいました。僕が分からない時は、ジェスチャーで教えてくれました。とても手先が器用で、細かい所は、手伝ってくれました。言葉が通じなくても、一生懸命に教えてくれて、とても嬉しかったです。二人で協力して作った風は、どの風よりきれいにできました。

その日の昼食では、ビーフシチューのような味のお肉ができました。中国は、中華料理しか出ないと思っていたのでびっくりしたし、とても美味しく、感動しました。

食事のテーブルには、必ず回転テーブルが中心にあり、料理が全て大皿に盛られ、そこにおかれていました。食べたい物を取るときにも、周りの人達が取ろうとしないかを確認しながら回転テーブルを回すのでちよっぴり気疲れしました。中国の人は、毎日周り

の人に気を配りながら食事をしているのかと思うと、日本に生まれてよかったなと思いました。

交流二日目の南京竹鎮中日友好希望小学校では、縄跳びと中国ゴマを体験しました。縄跳びでは、中国の体育の先生から指導してもらいました。日本では大縄に一人一人連続で入っていくけど、中国では、二人や三人でペアになって同時に縄に入ることを教えてもらいました。僕たちの小学校でも大縄の練習をしているので、中国の跳び方をみんなに伝えて、やってみないと思いました。

中国ゴマでは、四年生くらいの男の子が丁寧に教えてくれました。僕のコマが回らなくなると、その男の子が自分のとてもよく回るコマと交換してくれました。コマを使ったパフォーマンスも迫力があって、すごく驚きました。

その日の夕食では、江蘇省の人達と一緒に食事をしました。僕の名前とワイングラスがテーブルに用意されていて、こんな高級な場所で、食事をしたことがなかったのでもっとびっくりしました。料理も全部おいしかったです、特に初めて食べた鯉がおいしかったです。今まで鯉はおいしくないと言っていたけど、全く生臭くなくてとてもおいしく、何回もおかわりしました。他に

も初めて食べる中華料理で二度見するものもあったけど、一口食べてみるととてもおいしいものもありました。

中国に行く前は、いろいろなことが心配で、緊張してよく眠れなかったけど、実際に中国に着くと四日間があつという間に過ぎていきました。スーツケースに荷物を詰める時も、「四日間かー、長いなー」と、思っていたけど、本当にあつという間でした。中国の人はみんな優しく、空気は僕たちの町とあまり変わりがないなと思いました。食べ物もとてもおいしくて、辛いというイメージがあったけど食べられる物が沢山ありました。この経験で、人から聞くことや、テレビの情報だけでは、本当のことはわからないと思いました。中国に行ったことで、自分の目で見て、自分が実際に感じたことを大切に生きていきたいと思いました。椎田小学校の宮内校長先生が、「百聞は一見にしかず」とおっしゃっていた意味がよく分かりました。この貴重な体験は、僕にとって大切な宝物です。このような素晴らしい経験をさせていただき本当にありがとうございます。大人になっても忘れません。

日中友好交流訪問に参加して

葛城小学校 平野 楓

私は社会科の時間に中国について学習しましたが、もっと深く中国について知りたいと思い、日中友好交流訪問団に参加しました。事前研修では、中国語の挨拶の仕方や発音の仕方、出し物の振り付けなどを他校の人と一緒に練習しました。人数の多い他校の友達と一緒に活動することは刺激になり、「中学に行くとこんな感じなのかな」と、まだ先のことですが勉強になりました。自宅でも訪問に向けて中国語の練習をしました。

いよいよ中国訪問当日、上海空港に着くと分からない言葉で話している人がたくさんいたので、「中国に来たな」と実感しました。

二日目、午前中に河頭小学校を訪問しました。河頭小学校ではバスケットボールを強化しているようで、朝にバスケットボールを使用した運動をしていると、中国の先生が教えてくださいました。交流会が始まると、中国側の出し物はとても迫力があって驚きました。お土産交換の時に、中国の友達が私の席まで来てくれて手渡ししてくれたので緊張しました。

午後の昼食には日本とは違う珍しい味のものが多く出ました。ゼヒ、クラスのみんなにも食べてもらいたいと思いました。

その後、南京までのバス移動の時、中国の街並みが見えました。日本の都会の街に似ていましたが、道路をバイクがたくさん走っていて、「ここは中国なんだな」と改めて思いました。薛埠中心小学に着き、凧作りの授業に参加しました。私が作る凧は、布に下書きが書いてあって色付けをするというものでした。中国の友達と二人組で行うことになりました。言葉も通じず、下絵に何をすればいいのか分からなかった時、中国の友達が黒いペンを持って下絵をトントントンとたたき、することをジェスチャーで伝えてくれました。細いところを優先して塗ってくれたり、塗りやすいペンの角度を教えてくださいたりして、とても親切でした。黄緑の布一面に、緑や黄色、ピンクなどの濃い原色の大きな蝶々ができました。きれいな蝶々になってうれしかったです。凧揚げの時も、凧を持って走るまねをして「凧揚げをしよう」と伝えてくれて楽しく過ごせました。言葉が分からなくても、ジェスチャーで伝え合うことができるのだな、と思いました。交流会では、私たちは「ソーラン節」を披露しました。大きな声が出て、上手にできたと思います。練習の成果が

出せてよかったです。続いて、中国の先生方が五人で踊りを見せてくださいました。フラダンスのようなゆったりとした動きで、手のひらをヒラヒラさせながら踊っていて、とてもきれいでした。

三日目、午前中に博物館に行き、中国の歴史を学びました。中国のことわざ、制度、試験の仕方など、様々なことを知ることができました。なかでも、中国と日本のつながりを感じたのは「木簡」です。昔の日本の荷物には、荷札として竹簡がついていました。中国では荷札に竹を使用していたということでした。離れた国なのに、荷札として木を同じように使っていたこと、似たものが他にもたくさんあったことから、「昔から中国と日本にはつながりがあったんだな」と思いました。

午後には竹鎮中日友好希望小学校を訪問しました。そこでは、中国ごま、縄跳び、切り絵の三つに分かれて授業に参加しました。私は切り絵のチームで、中国の友達と二人一組で切り絵をしました。パンダの絵に、笹の葉なども描写されていて「難しそうだな」と思いましたが、中国の友達に教えてもらって、デザインナイフで切り進めていきました。私が切り方に迷っていると、中国の友達が代わって切ってくれました。スラスラと切り進めてくれて、あつという

間に終わってしまいました。「上手だな」と思いました。お礼を言おうとしましたが、中国語が話せなかったので拍手のまねやジェスチャーで伝えようと思いました。すると、感謝の気持ちが通じたようで、すごく喜んでくれました。私もうれしくなってしばらくジェスチャーで会話をしました。

私は今回、日中友好交流訪問に参加させてもらって、中国に対する考え方が変わりました。今までよく分からなかった中国の人たちは、とても優しく親切でした。街も私の想像していたものより、ずっときれいで都会のところもありました。また、歴史についてとても丁寧に教えていただき、中国に対しての理解をより深めることができました。私は今回、この訪問に参加することができてよかったと思います。今回の経験をもとに、これからは見方を広げ、中国についてもっと学んでいこうと思います。

日中友好交流訪問について

葛城小学校 仲野 颯哉

ぼくは、日中友好交流訪問で十一月二十日から十一月二十三日まで中国に行きました。四日間を外国で過ごすことができるか心配でしたが、知っている人が何人かいたので、安心して出発しました。

二日目、午前中は河頭小学校に行きました。バスケットコートに案内されると中国の子ども達がバスケットボールを持って動いたり、ドリブルをしたりして、体操をしていました。葛城小学校では、朝に走ったり縄跳びをしたりしていますが、バスケットボールを使った体操をしてみたいと思いました。

午後は、薛埠中心小学に行きました。はじめに、中国の男の子と一緒に竹ひごや厚紙を使って、凧をつくりました。中国の男の子が、ジェスチャーで作り方を教えてくれたので、ぼくもジェスチャーで答えました。男の子の教え方が、とても丁寧で優しくかったので作りやすかったです。その後、みんなで凧を飛ばしました。「言語が違ってもジェスチャーで気持ちを伝えることができるのだな」と思いました。

夜は、ホテルで夕食を食べました。見たことのない料理がたくさんありました。野菜炒めのような料理を食べると、味付けが日本と違って、辛かったです。

三日目、中国科学博物館見学に行きました。ぼくの知っている博物館とは違い、大きかったです。博物館には、昔の中国のことを記した巻き物がたくさんありました。巻き物は竹で作られており、ひもで縛られていて棚に展示されていました。それらは昔の書物だそうです。奥には女性のアクセサリーや男性の服もありました。また、昔の暮らしの様子を3D映像で、見ることができました。とてもリアルだったので、中国の技術力に驚きました。昔の日本と中国の服装は違っていましたが、装飾品は似ていることが分かりました。日本と中国の文化は、「全く違うものだ」と思っていました。よく似ているということが分かりました。

午後、竹鎮中日友好希望小学校に行きました。最後の小学校交流だったので、少し緊張しました。はじめに、中国の女の子と一緒に龍の切り絵をしました。見たことのないカッターで、「上手にできるかな」と心配でしたが使い方は日本と同じでした。途中、切り方がわからないところは、女の子にジェスチャーで分かるまで聞きま

した。女の子の中国語は分からなかったけれど、一生懸命に考え、話を通じました。とてもうれしかったです。切り絵に慣れてきて、とてもスムーズにできましたが、龍は出来上がりませんでした。あとで女の子が仕上げて持ってきてくれた作品は、思っていたより細かくて「すごいな」と思いました。中国語でお礼を言うと、恥ずかしそうにうなずいてくれたのでうれしかったです。

次に中国の歌やリコーダーの曲を聞きました。中国の歌は、独特のリズムで楽しい歌でした。日本の曲は、テンポのとりやすい曲が多いですが、中国の曲は、テンポがよく変わっていたので、おもしろかったです。リコーダーで日本の曲「さくらさくら」を演奏してくれました。難しい曲なのにきれいな音で演奏できていたので「すごいな」と思いました。

夜は多くの人達と一緒に食事をするということで、とても緊張しました。中国のマナーは分かりませんが、先生から「たくさん食べて。マナーはよくしてね。」と言われたので、静かに食べました。中国の箸は大きくて長いので、慣れるのに大変でした。日本に帰ったら中国のマナーはどのようなものなのか調べたいと思いました。

四日目は帰国の準備をして、みんなで上海空港に行きました。買い物をする時間があつたので、友達とお土産を買いました。お金の使い方は、先生から教えてもらっていたので特に困ることはありませんでした。お土産として、家族にパンダのペンを買いました。お土産コーナーにはパンダが多くあり、中国は「パンダを大切にしているんだな」と思いました。

ぼくは、今回の日中友好交流訪問に参加して、日本とは違う中国の文化を知ることができました。中国訪問前は、中国の街は排気ガスが多く、「空気が汚れているのかな」と思っていたのですが、実際に中国に行ってみるととてもきれいでした。これからは、色々な人に「中国は良いところだよ」と伝えていこうと思います。

初めて行った中国

小原小学校 出口 真帆

「今日は、中国に行く日だ。」

十一月二十日は、日本から中国へ出発する日でした。クラスのみんなが学校で勉強をしている時間、私達は中国の友達と交流して日本との違いを見つけたり、言葉が分からなくても積極的に会話して

みたりするなど貴重な体験をたくさんしました。中国に行くのは、最初、とても不安でした。でも、飛行機に乗って中国に到着し入国すると、ビルがライトアップされていて、町がきれいでもとても驚きました。日本では、ふつうビルは赤や青に照らされたりしないからです。夜なので明るく見え、まるで私達を出迎えてくれているようでした。移動のバスで窓から夜景を見ると、信号機も日本のものとは違うのが分かりました。信号機に秒数が表示されていて、あと何秒で切り替わるのかわかるようになっていました。交通事故をなくすための工夫がされていました。初めての中国は、日本と違う所がたくさんあり、驚きばかりの一日になりました。そして、夕飯は中華料理がたくさん出されて、どれもとてもおいしく頂きました。

夕食でも一つ初めて知ったことがありました。それは、中国では料理の最後に必ずスイカが出されるということです。中国では一年中スイカが収穫され、スイカが出されると料理の最後の合図なのだそうです。次にホテルの部屋に入ると、とても広く驚きました。友達と二人で泊るのも初めてで、ドキドキしました。お風呂は、シャワーで使い方が分からず困っていると、先生が教えてくれて助かりました。

翌日の朝食は、バイキングでした。中華料理以外の物もあり、自分で選ぶことができました。パンを食べてみると、日本の物とは味が全く違っていました。でも、おいしく頂きました。朝食をすませたから、展示館へ移動しました。そこには、中国の未来の模型などがあり、細かい所まで精巧に作られていて、すごいなと感じました。他にも昔の中国の様子を人形で再現していて、昔の様子を知ることができました。その後、河頭小学校との交流がありました。中国の人達はみんな大きな口で歌を歌ったり、ダンスを踊ったりして私達を楽しく歓迎してくれました。また、学校の講堂には、たくさんのイスがあり、校舎も日本とはずいぶんと違いました。私達も感謝の気持ちを表すために「花は咲く」を歌いました。高音部もきれいに

声を出すことができ、練習の成果を発揮できて良かったです。そして、その後は、教室に移動しました。何をするのかなと思っていたら、年下の女の子が絵の描かれている紙皿を見せてくれました。すると、先生から周りにシールを貼るように指示があり、その女の子と一緒にバラと星のシールを貼っていきました。女の子と目が合うと、笑ってくれたので、仲が深まった気がしてとてもうれしく思いました。

昼食は、中華料理ではなく、鯉を焼いたものが出されましたが、それもおいしく頂きました。昼食の後は、薛埠中心小学との交流でした。私とペアだった中国の女の子は英語で話しかけてくれました。何と言っているのか分からない所もあったけれど、コミュニケーションが取れたので、とても楽しかったです。そして、たこを作って、外で飛ばしたのですが、残念ながらぐるぐると回るだけで、上の方には上がりませんでした。でも、手を振ったり、笑いあったりして仲良くなることでできてとてもうれしかったです。その後、歌とダンスを披露しました。中国の先生方もみんななめらかな動きでダンスを踊っていたので、つつい見入ってしまいました。その日は、併せて二校も訪問したので、忙しい行程でした。また、

薛埠中心小学を去る時も、児童のみんなが手を振って見送ってくれたので、とてもうれしく思いました。

三日目は、中国科举博物館に行きました。かわらなどが壁にたくさんあり、中国の歴史を色々教えてもらいました。実際に物を見ながら教えてもらったので、とても分かりやすく理解することができた。そして、竹鎮中日友好希望小学校との交流がありました。私達の班はまず、縄跳びをしました。ここでは、中国の児童が少し日本語を話していたので、びつくりしました。運動の後は出し物で、日本とは違う動きをしていたのが、一番心に残りました。近くにいた一年生と目が合うと笑顔を見せてくれました。話す言葉や生活が違っても心はつながっているような気がしました。これで最後の交流会だと思うと少し寂しい気持ちになりました。けれど、この楽しかった気持ちを日本の友達に伝えていきたいと思いました。

初めての中国は不安でいっぱいだったけど、行ってみると、楽しくたぐさんの思い出が残りしました。また、違う国にも行ってみたいと思っています。

中国訪問記録写真

結団式、事前研修

10月6日（日）、27日（日）、11月10日（日）、11月17日（日）



団長（町長）挨拶



説明会



中国語会話練習



エイサー



歌「春天在那里」



歌「花は咲く」



ソーラン節

中国訪問 1日目 11月20日（水）



出発式



福岡空港



上海市のSA



機内食



1日目ホテル



夕食



ホテルの部屋



中国訪問 2日目 11月21日(木)



朝食



金壇都市企画展示館



河頭中心小学交流



テレビ取材



バスケット体操





小学校前街並み



たこ作り



薛埠中心小学交流



2、3日目ホテル



南京市風景



中国訪問 3日目 11月22日(金)



ホテルロビー



孔子廟



南京科学博物館



お土産買い





テレビ取材



記念品交換



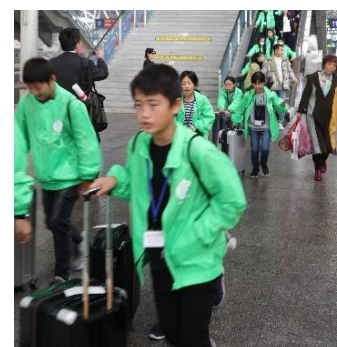
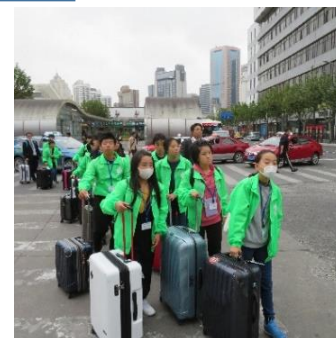
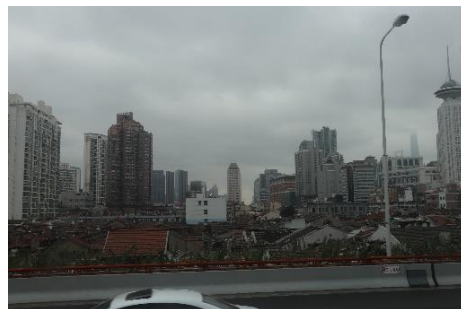
築上町中日友好希望小学校交流



江蘇省人代主催夕食会



中国訪問 4日目 11月23日（土）



令和元年度 築上町日中友好相互交流事業 中国訪問団 団員

小学生児童訪問団員

番号	学校名	氏名
1	築城小学校	平池 杏衣
2	築城小学校	秋元 心優
3	築城小学校	繁永 まりあ
4	築城小学校	清水 楓果
5	築城小学校	竹本 ひなの
6	築城小学校	森 珠吏亜
7	築城小学校	内山 雅晴
8	築城小学校	黒瀬 寛介
9	築城小学校	末久 理依
10	椎田小学校	大和 滯耀
11	椎田小学校	橋本 健介
12	椎田小学校	持田 真寛
13	椎田小学校	永岡 佳穂
14	椎田小学校	家令 愛
15	椎田小学校	西田 優明
16	椎田小学校	藤井 輝
17	椎田小学校	吉原 琉唯
18	八津田小学校	岡部 心優
19	八津田小学校	佐々木想一朗
20	葛城小学校	平野 楓
21	葛城小学校	仲野 颯哉
22	小原小学校	出口 真帆

随行団員

番号	所属	氏名
1	築上町 町長	新川 久三
2	築上町教育長	久保 ひろみ
3	事務局（学校教育課）	野正 修司
4	椎田小学校 校長	宮内 智久
5	椎田小学校 教諭	多田 佳礼
6	築城小学校 校長	是石 博幸
7	築城小学校 教諭	筒井 ゆう子
8	通訳	孫 濱紅
9	築上町看護師	深田 ゆきみ
10	事務局（企画振興課）	佐野 由佳



